

# 第7期幸区地域福祉計画（案）

令和6（2024）年度～令和8（2026）年度

本計画（案）は、令和5年11月初旬時点の内容のものであり、令和6年3月の策定（改定）に向けて、川崎市社会福祉審議会地域福祉分科会やパブリックコメント、庁内協議等の意見を踏まえ、一部内容や表現が変更となる場合があります。

川崎市幸区



## 目 次

<b>地域福祉計画</b>	<b>1</b>
<b>Chapter1 わがまちを知る</b>	<b>2</b>
1 幸区のプロフィール	3
2 統計データから見る幸区	5
3 幸区をもっと細かく見てみる（地区の概況）	9
<b>Chapter2 地域の福祉を調べる</b>	<b>16</b>
1 第6回川崎市地域福祉実態調査結果	17
2 第6期幸区地域福祉計画を振り返る	25
3 第7期幸区地域福祉計画推進の視点	27
<b>Chapter3 わがまちの将来を描く</b>	<b>28</b>
1 計画の期間	29
2 計画の構成	29
3 計画の体系図	30
4 基本目標、基本方針、基本施策、事業・取組	31
基本目標1【ひろがる】	31
基本方針 1-1【知る】#わがまち、#地域包括ケア	32
基本方針 1-2【保つ】#子どもの健康、#自分の健康	33
基本方針 1-3【参加する】#地域活動、#ボランティア	34
基本目標2【つながる】	35
基本方針 2-1【つながる】#地域活動、#地域資源	36
基本方針 2-2【育む】#交流の場、#新たな活動	37
基本方針 2-3【支え合う】#多様性、#見守り	38
基本目標3【とどく】	39
基本方針 3-1【届ける】#専門性の高い情報	40
基本方針 3-2【充実させる】#相談支援機能	41
基本方針 3-3【進める】#防災、#防犯、#訓練	42
基本目標4【すすめる】	43
5 幸区社会福祉協議会との連携	45
<b>市計画概要</b>	<b>46</b>
1 計画策定の趣旨・期間	47
2 令和7（2025）年以降を見据えためざすべき姿	49
3 第7期計画期間における施策の方向性	51
4 第7期計画の実施状況の点検・見直し	54
<b>資料編</b>	<b>56</b>
1 各事業・取組及び担当課一覧	57
2 第7期幸区地域福祉計画の策定経過	67
3 各種要綱	69

## 地域福祉計画

川崎市では、3年に一度「地域福祉計画」をつくっています。計画には、川崎市全体の計画が一つと区ごとの計画がそれぞれあります。

地域福祉の概念は、「住み慣れた地域社会の中で、家族、知人、友人、近隣住民などの社会関係を保ち、自らの能力を最大限発揮し、誰もが自分らしく、誇りを持って、家族及び地域の一員として、日常生活を送ることができるような状態をつくっていくこと」であって、決して特別なことではありません。

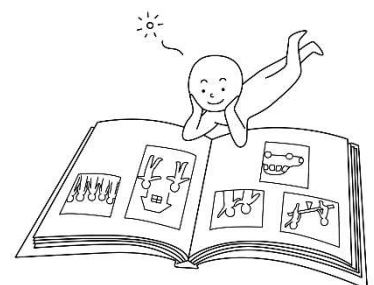
私たちは、生まれてから死を迎えるまでの生涯を通じて、多かれ少なかれ、必要に応じて、周りの人の支援を得て問題を解決しながら生きています。地域福祉の概念を実現するためには、まずは、社会の中のサービスを利用することも含めて自分でできることは自分でする「**自助**」、近隣の助け合いやボランティアなどの顔の見えるお互いの支え合いの取組としての「**互助**」、介護保険や医療保険に代表されるお互いの支え合いを制度化した取組としての「**共助**」、困窮など自助・互助・共助では対応が難しいことで公的な生活保障を税により取り組む「**公助**」の組み合わせによる取組を進めることが必要です。

こうした「**自助・互助・共助・公助**」の様々な取組を進める計画として、地域福祉を進める理念や仕組みをまとめた行政がつくる「地域福祉計画」と、市民の活動・行動のあり方をまとめた社会福祉協議会がつくる「地域福祉活動計画」があります。

「第7期幸区地域福祉計画」は、川崎市全体の「第7期川崎市地域福祉計画」、幸区社会福祉協議会がつくる「第6期幸区地域福祉活動計画」と相互に連携・補完しながら、事業展開していく関係にあります。

「幸区に住んで良かった」「幸区に住み続けたい」。一人でも多くの住民がそう感じられる幸区にするために、大きくても小さくても一人ひとりの夢が「**ひろがり**」、未来に向けた地域の中で、その人個人や地域活動の有形・無形の想いが多くの人に「**つながり**」、困った時には必要な相談支援がしっかりと「**とどく**」ことで、幸区のまちをより暮らしやすいまちにしていくための方策が「第7期幸区地域福祉計画」としてまとめられています。(第6期の振り返りは25ページ参照。)

地域福祉は、地域住民、町内会・自治会、学校、社会福祉協議会、様々な地域活動団体、ボランティア、民生委員児童委員、保健医療福祉関係事業者、企業、行政などあらゆる人々が担い手になります。さあ、この計画書を片手に、未来の幸区を一緒に作りましょう。





まずは、自分のまちの情報を知ろう！

# わがまちを 知る



わがまちを知る

Chapter

1

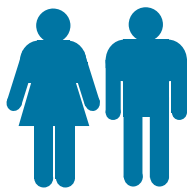
- 1 幸区のプロフィール
- 2 統計データから見る幸区
- 3 幸区をもっと細かく見てみる（地区の概況）

# 1 幸区のプロフィール

幸区は川崎市の南東部に位置し、川崎区・中原区、横浜市の鶴見区・港北区、東京都の大田区と隣接しています。北に多摩川、南に鶴見川、西に矢上川と三方を川に囲まれています。地形は、区域北西部に位置する加瀬山(標高約35m)とその周辺を除き高低差はあまりなく、平坦な土地が広がっています。



## 幸区基本データ



人口 **172,561** 人

世帯数 **86,486** 世帯

平均年齢 男性 **87,779** 人  
**43.81** 歳 女性 **84,782** 人

昼夜間人口比率 **95.3** 外国人住民人口 **5,915** 人

### 【資料】

人口・平均年齢：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」（令和5年3月末日現在）  
 世帯数：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」（令和5年3月末日現在）  
 外国人住民人口：川崎市統計情報「川崎市管区別年齢別外国人住民人口」（令和5年3月末日現在）  
 昼夜間人口比率：令和2年国勢調査（令和2年10月1日現在）

## 7区比較で読み解く幸区

### 町内会自治会加入率 (%) **1位**

1 幸区	66.4
2 麻生区	61.3
3 中原区	61.2
4 宮前区	58.9
5 高津区	57.5
6 川崎区	52.1
7 多摩区	50.3

資料：令和4年度川崎市統計書「住民組織加入状況」（令和4年4月1日現在）

### 人口増減数 (人) (直近5年合計) **3位**

1 中原区	10,827
2 多摩区	7,697
3 幸区	5,584
4 宮前区	5,040
5 麻生区	3,501
6 高津区	3,045
7 川崎区	285

資料：川崎市統計情報「川崎市の人口動態」（平成30年から令和4年の合計値）

### 年少人口割合 (%) (15歳未満人口) **2位**

1 宮前区	13.3
2 幸区	13.2
3 中原区	12.6
4 麻生区	12.4
5 高津区	12.2
6 多摩区	10.7
7 川崎区	10.3

資料：川崎市統計情報「町丁別年齢別人口」（令和5年3月末日現在）

## ■幸区のシンボルマーク

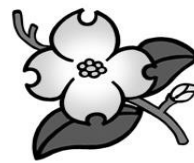
幸区の頭文字「S」と無限大のマーク「∞」をイメージしている。二つの輪は、区民の深いつながりと伸びゆく情報発信を表し、地域の温かい人情と未来都市への無限の可能性にあふれた区を象徴しています。



幸区のシンボルマーク

## ■幸区の区の木と区の花

昭和47年(1972年)に川崎市が政令指定都市に移行し、行政区として幸区が誕生しました。平成24年(2012年)に40周年を記念して「ハナミズキ」が区の木、「ヤマブキ」が区の花に制定されました。



幸区の木 ハナミズキ



幸区の花 ヤマブキ

## ■区域内の交通

区域内の交通としては、幹線道路の国道1号線(第二京浜)が区域の東側を南北に縦断し、国道409号線(府中街道)が北側を東西に横切っています。鉄道はJR南武線と横須賀線が西側を南北に縦断しており、JR川崎、尻手、鹿島田、新川崎の4駅が立地しています。



### 出生率 (%) 2位

1 中原区	9.6
<b>2 幸区</b>	<b>8.7</b>
3 高津区	8.1
4 多摩区	7.7
5 宮前区	7.3
6 麻生区	6.6
7 川崎区	6.0

資料：令和4年度川崎市統計書  
「出生・死亡・婚姻・離婚数の推移」  
(令和3年1月から12月の出生率)

### 昼夜間人口比率 (%) 2位

1 川崎区	116.2
<b>2 幸区</b>	<b>95.3</b>
3 中原区	83.3
4 高津区	82.1
5 麻生区	81.3
6 多摩区	79.1
7 宮前区	74.5

資料：令和2年国勢調査  
(令和2年10月1日現在)

### 外国人住民人口 (人) 3位

1 川崎区	16,962
2 中原区	6,506
<b>3 幸区</b>	<b>5,915</b>
4 高津区	5,653
5 多摩区	5,056
6 宮前区	4,420
7 麻生区	3,280

資料：川崎市統計情報「川崎市管区別  
年齢別外国人住民人口」  
(令和5年3月末日現在)

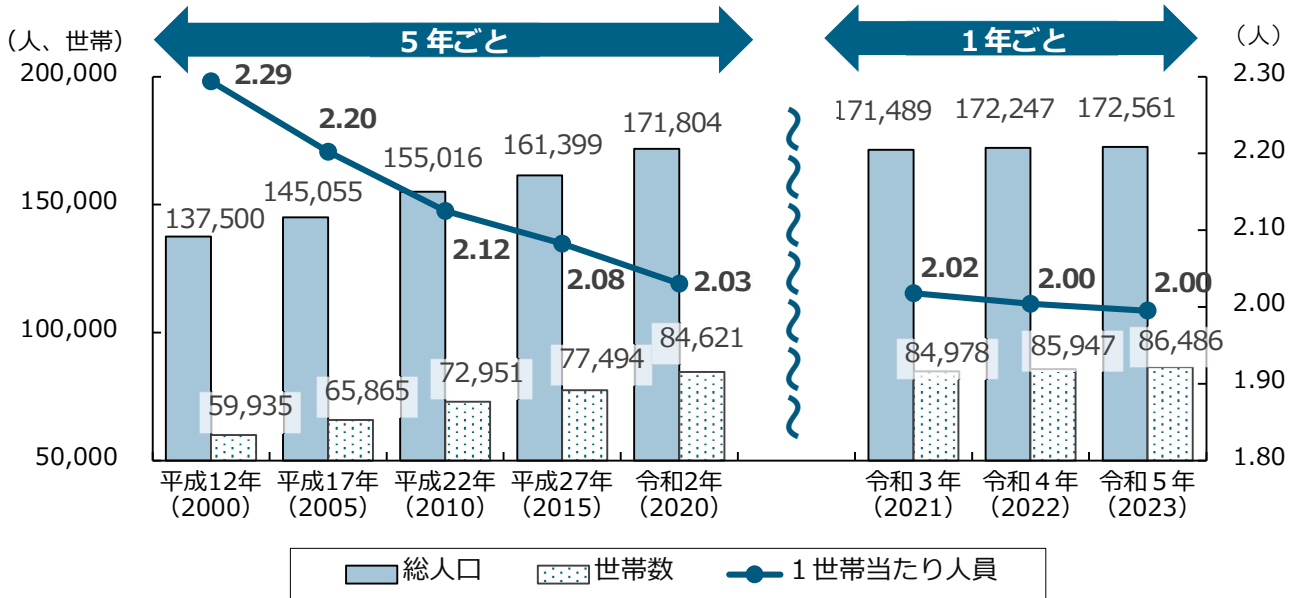
わがまちを知る

## 2 統計データから見る幸区

### 人口

#### 1 人口・世帯数は増加傾向、1世帯当たりの人員は減少傾向

幸区の総人口と世帯数の推移



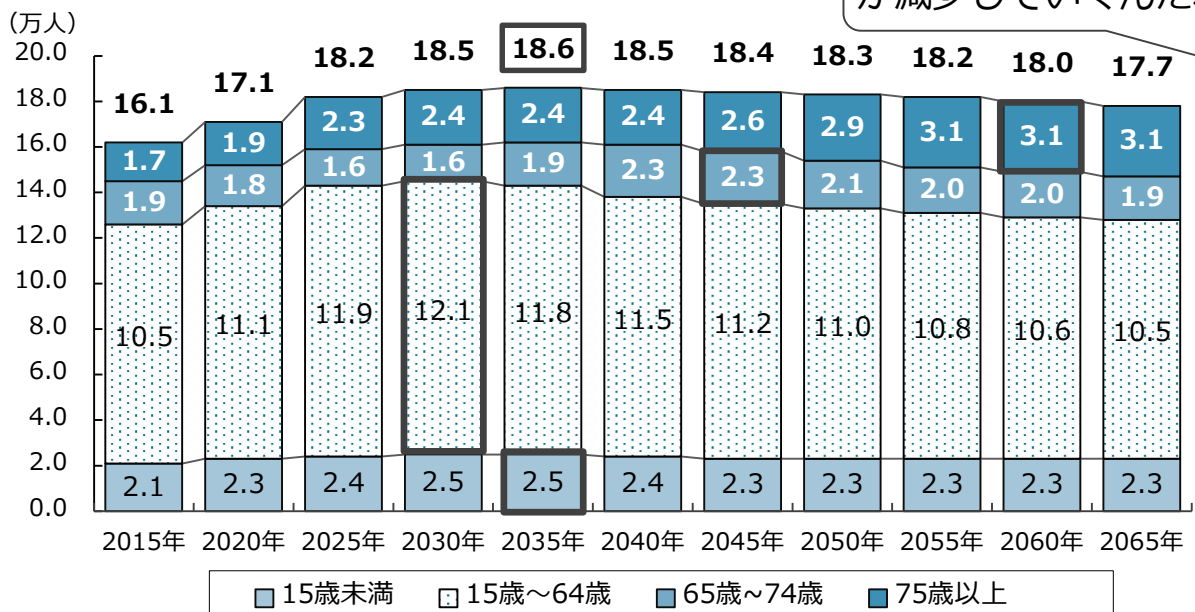
人口は増えているけれど、1世帯の人数は減っているね。

資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」(各年9月末日現在、令和5年は3月末日現在)

#### 2 総人口は2035年にピーク、75歳以上人口が大幅に増加

幸区の年齢区分別将来人口推計

2035年をピークに人口が減少していくんだね。



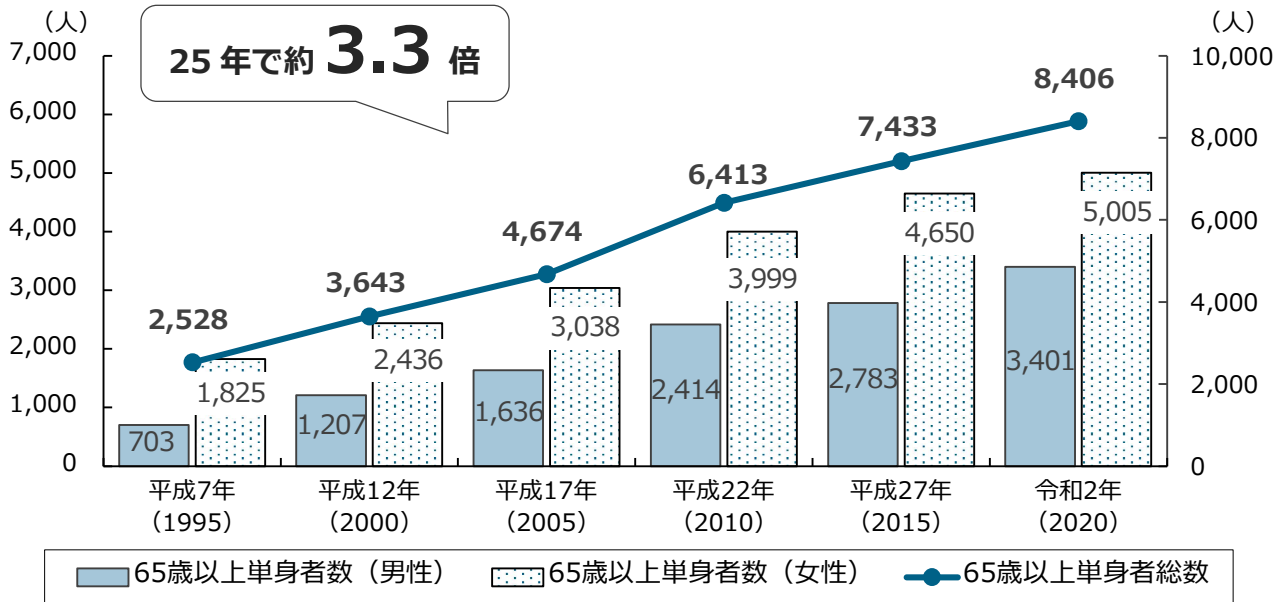
資料：川崎市総務企画局「川崎市総合計画第3期実施計画の策定に向けた将来人口推計（更新版）」(令和4年2月)



# 高齢者の暮らし

## 3 ひとり暮らし高齢者は男女とも増加傾向

幸区の高齢者ひとり暮らし世帯数の推移



ひとり暮らしの高齢者が  
増えているね。

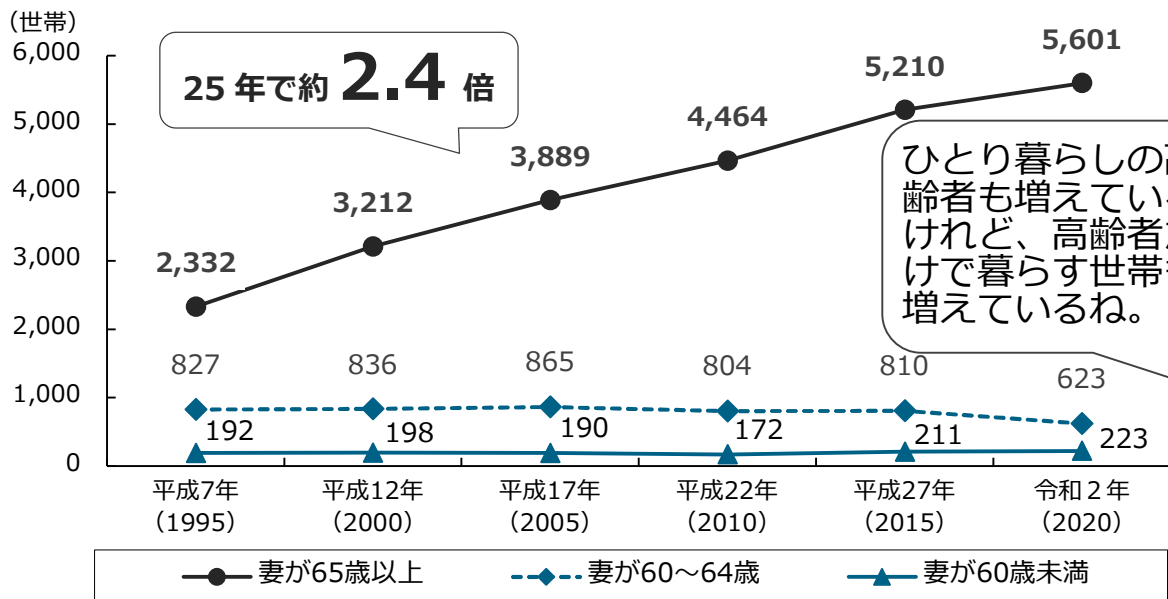
資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

わがまちを知る

## 4 夫婦ともに高齢者の世帯数は増加傾向

幸区の高齢者夫婦世帯数の推移

(夫 65 歳以上, 妻 60 歳以上の夫婦のみの世帯)



ひとり暮らしの高  
齢者も増えている  
けれど、高齢者だ  
けで暮らす世帯も  
増えているね。

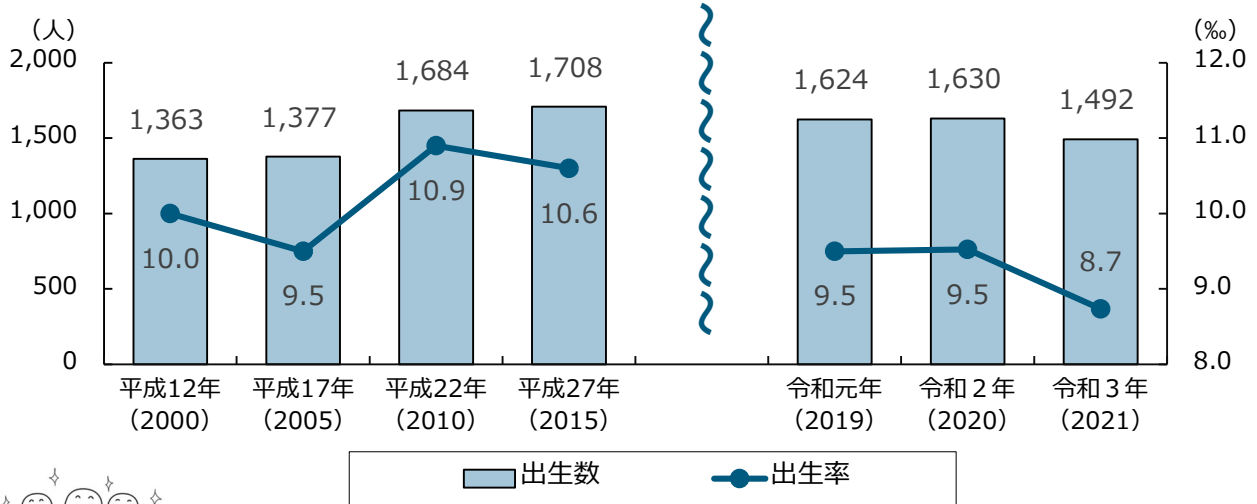


資料：国勢調査（各年 10 月 1 日現在）

# 子ども・子育て世代の暮らし

## 5 出生率は平成 22 年から低下傾向

幸区の出生数・出生率の推移

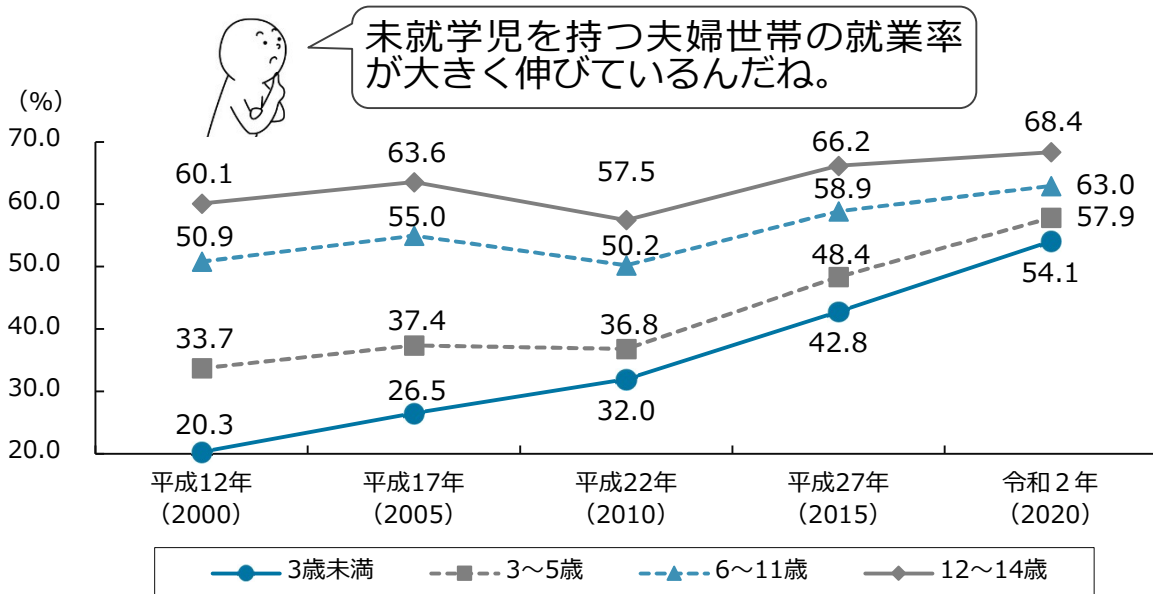


幸区の人口の100人に1人は新しく誕生した赤ちゃんなんだね。

資料：川崎市統計書（各年次）

## 6 未就学児がいる世帯の夫妻ともに就業している率が上昇

夫婦のいる世帯のうち、夫妻ともに就業している世帯の割合（最年少の子ども年齢別）



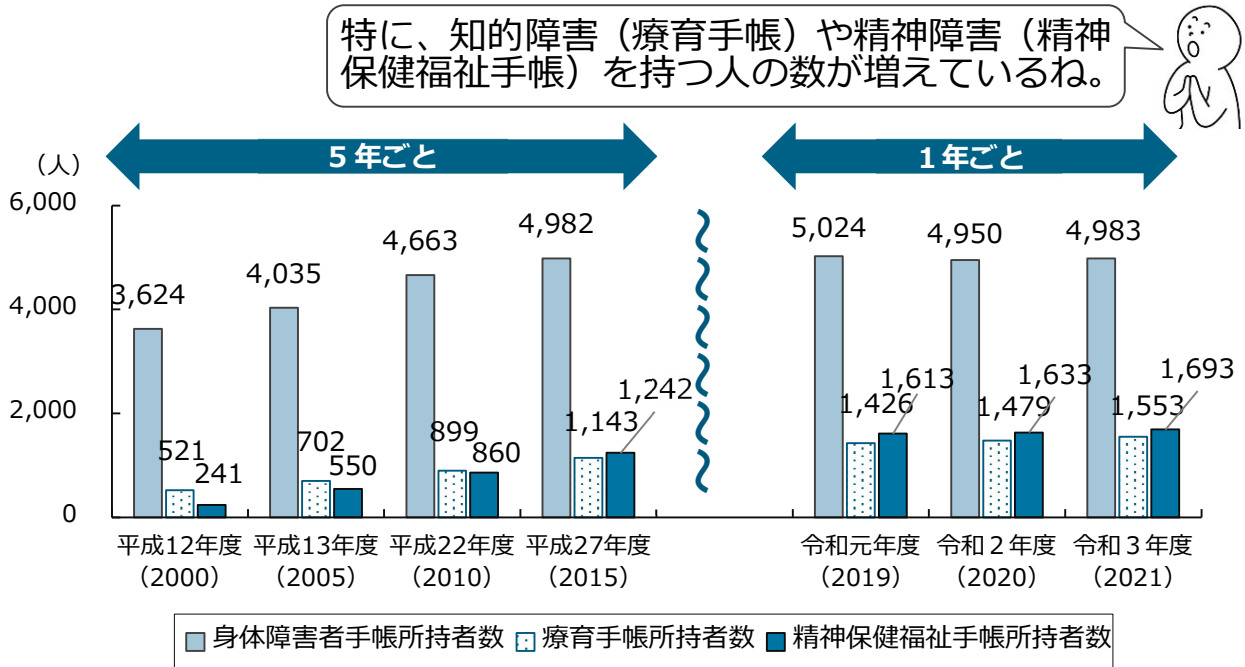
未就学児を持つ夫婦世帯の就業率が大きく伸びているんだね。

資料：国勢調査結果から作成

## 地域福祉に関する統計

### 7 障害者手帳所持者数はいずれも増加傾向

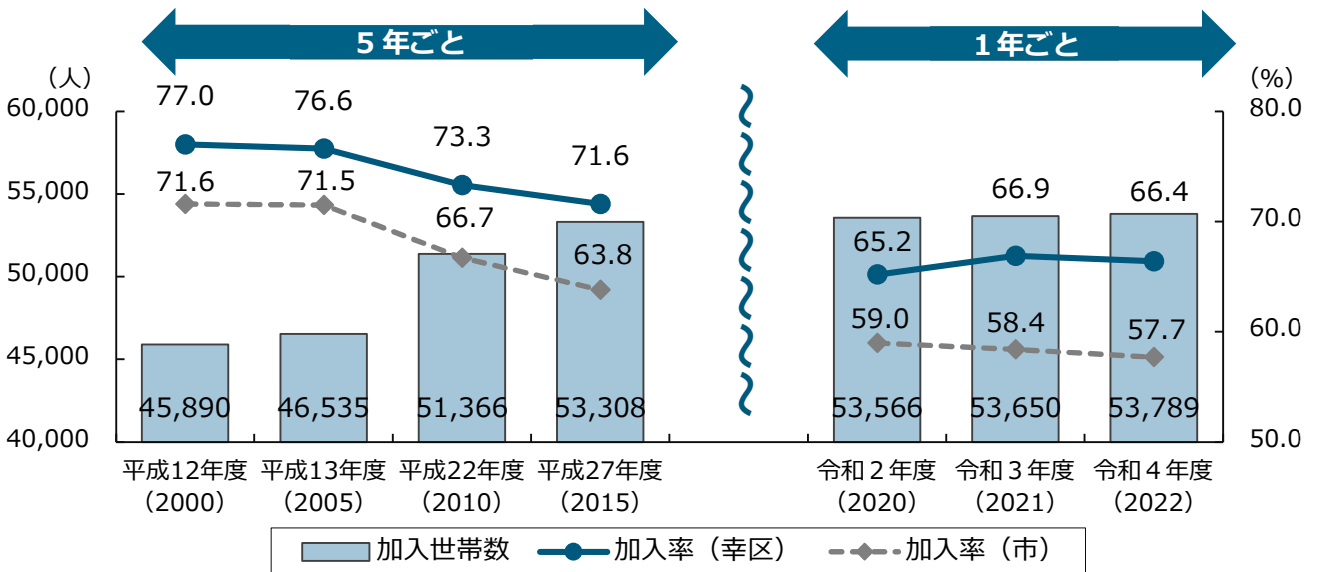
幸区内の障害者手帳所持者数の推移



わがまちを知る

### 8 町内会・自治会加入率は市を上回るものの、低下傾向

幸区内の町内会・自治会加入状況の推移



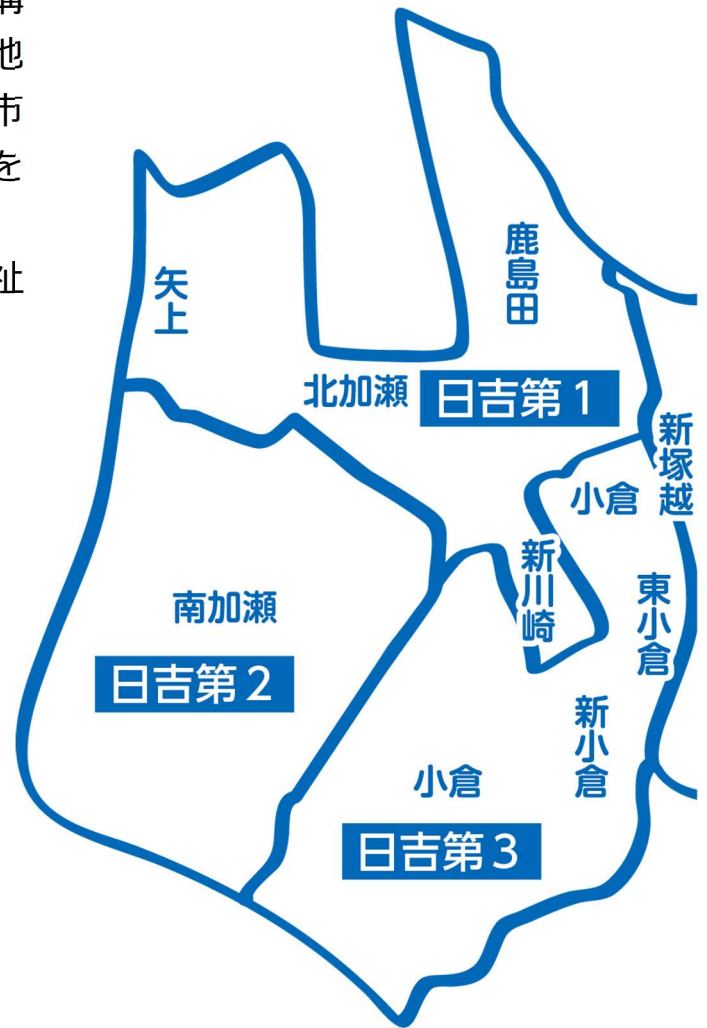
町内会・自治会加入世帯数は増えているけど、加入率は下がっているんだね。

### 3 幸区をもっと細かく見てみる（地区の概況）

川崎市では、地域包括ケアシステム構築に向けて、地区カルテ等を活用した地域マネジメントを一層推進するため、市内を44の圏域に分け「地域ケア圏域」を設定しました。

幸区では、7つの地区に分け、地域福祉向上に向けた取組を推進していきます。

わがまちを知る



#### 7つの 地域ケア 圏域 (人口と町)

**南河原**  
28,798人

大宮町、幸町、中幸町  
堀川町、南幸町、都町  
柳町

**御幸東**  
29,571人

遠藤町、小向  
小向町、小向東芝町  
小向仲野町、小向西町  
紺屋町、神明町  
戸手、戸手本町

**河原町**  
6,314人

河原町

資料：川崎市統計情報「町丁別世帯数・人口」（令和5年3月末日現在）



幸区役所では、町内会・自治会単位で統計資料や地図を用いて、地域の特徴や現状等をまとめた地区カルテとともに、それよりも広い範囲となる「地域ケア圏域」の統計情報を整理し、地域ごとの良いところや課題となるところの把握に努めています。

皆さんの住んでいる地域がどのエリアになるのか確認し、どのようなまちをつかっていきたいか、ともに考えていきましょう。

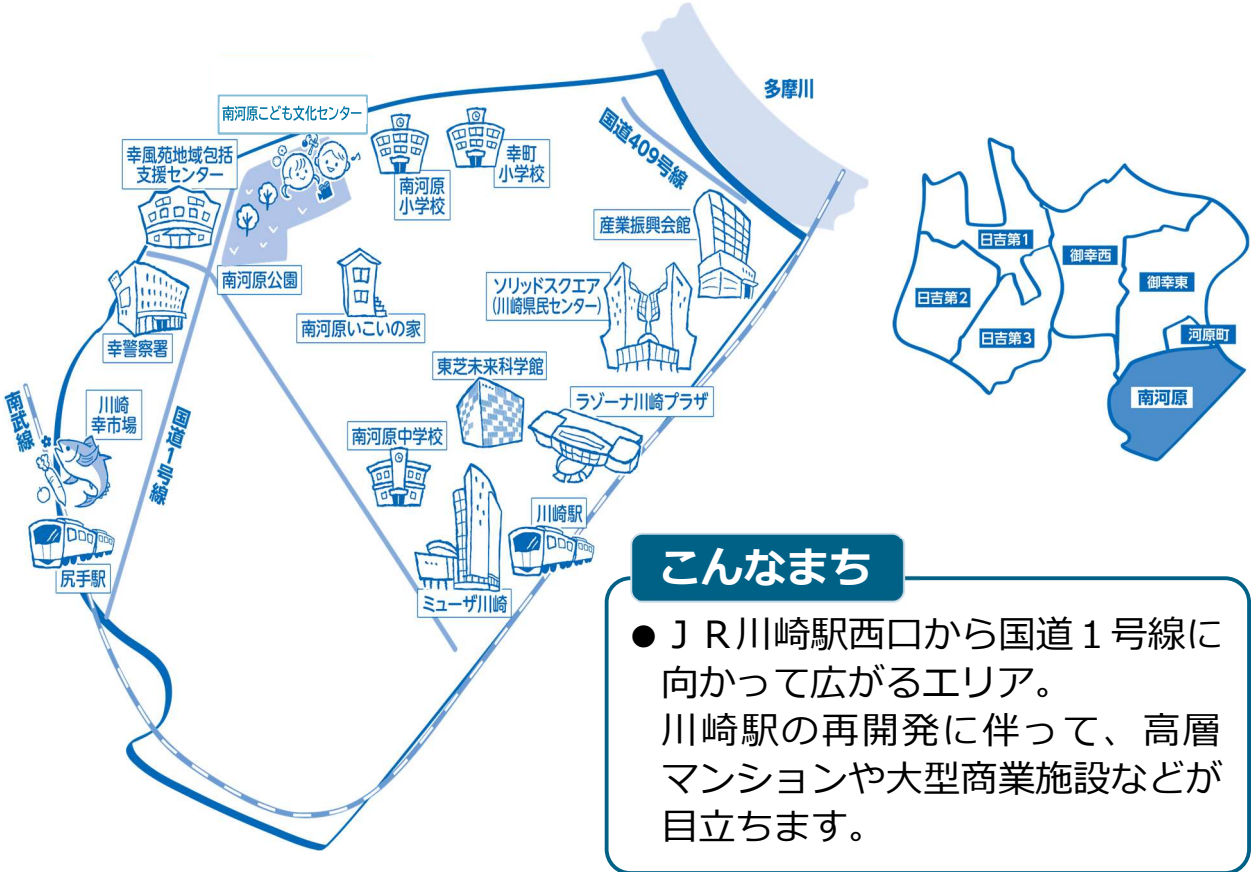


ウェブ上での検索で  
サイトをご覧くださいませ

<p><b>御幸西</b> <u>40,964 人</u></p> <p>下平間、塚越 東古市場、古市場 古川町、新塚越</p>	<p><b>日吉第 1</b> <u>22,193 人</u></p> <p>北加瀬、矢上 新川崎、鹿島田</p>	<p><b>日吉第 2</b> <u>19,421 人</u></p> <p>南加瀬</p>	<p><b>日吉第 3</b> <u>25,300 人</u></p> <p>小倉、新小倉 東小倉</p>
--	---	--	---

## 南河原地区

わがまちを知る



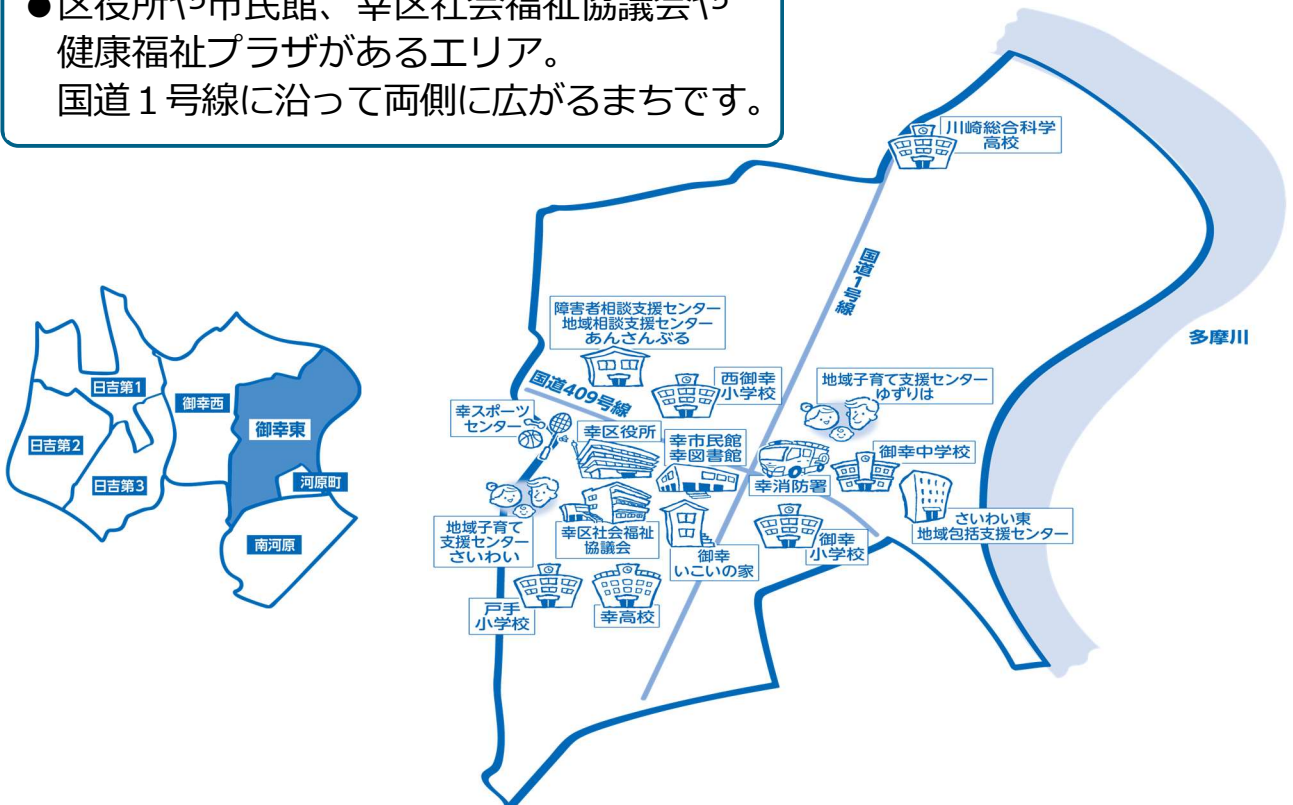
### こんなまち

- J R川崎駅西口から国道1号線に向かって広がるエリア。川崎駅の再開発に伴って、高層マンションや大型商業施設などが目立ちます。

## 御幸東地区

### こんなまち

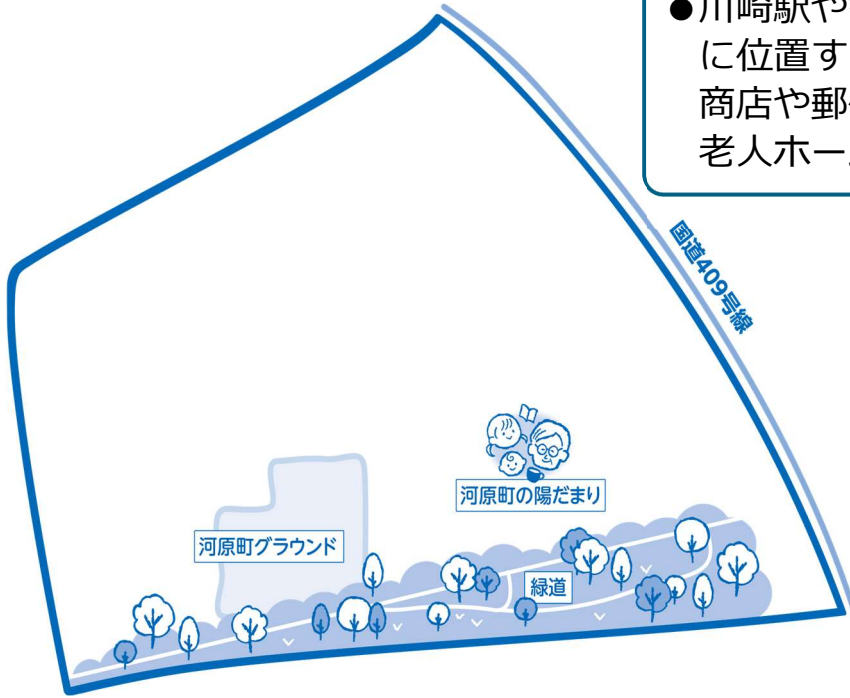
- 区役所や市民館、幸区社会福祉協議会や健康福祉プラザがあるエリア。国道1号線に沿って両側に広がるまちです。



## 河原町地区

### こんなまち

- 川崎駅や多摩川にもほど近い場所に位置する大型団地。団地内には、商店や郵便局、保育園、特別養護老人ホームなどもあります。

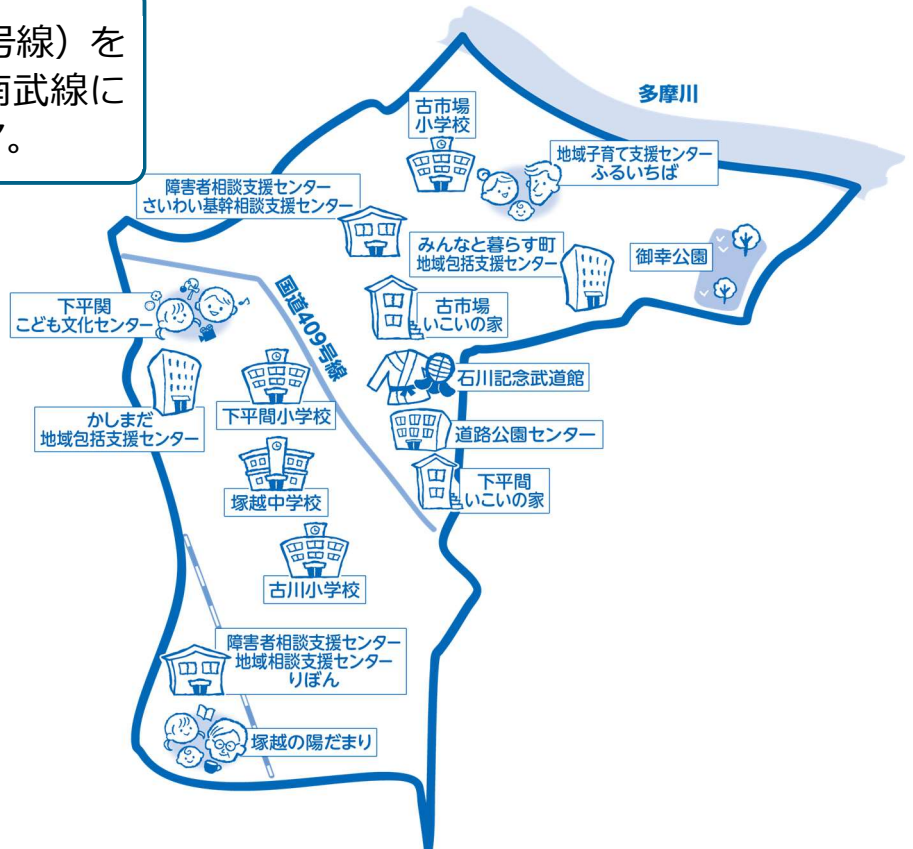


わがまちを知る

## 御幸西地区

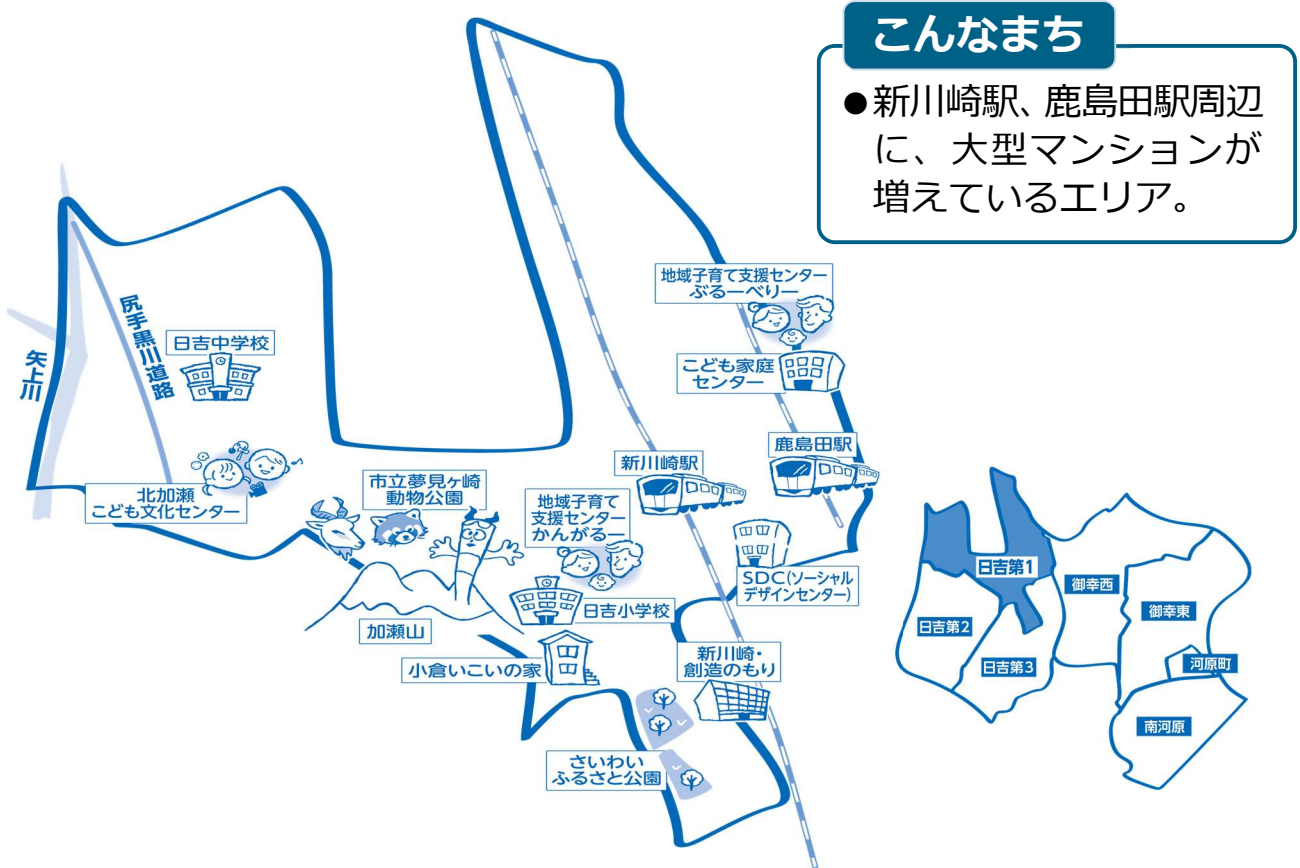
### こんなまち

- 府中街道（国道 409 号線）を挟んで、多摩川から南武線に向かって広がるエリア。



## 日吉第1地区

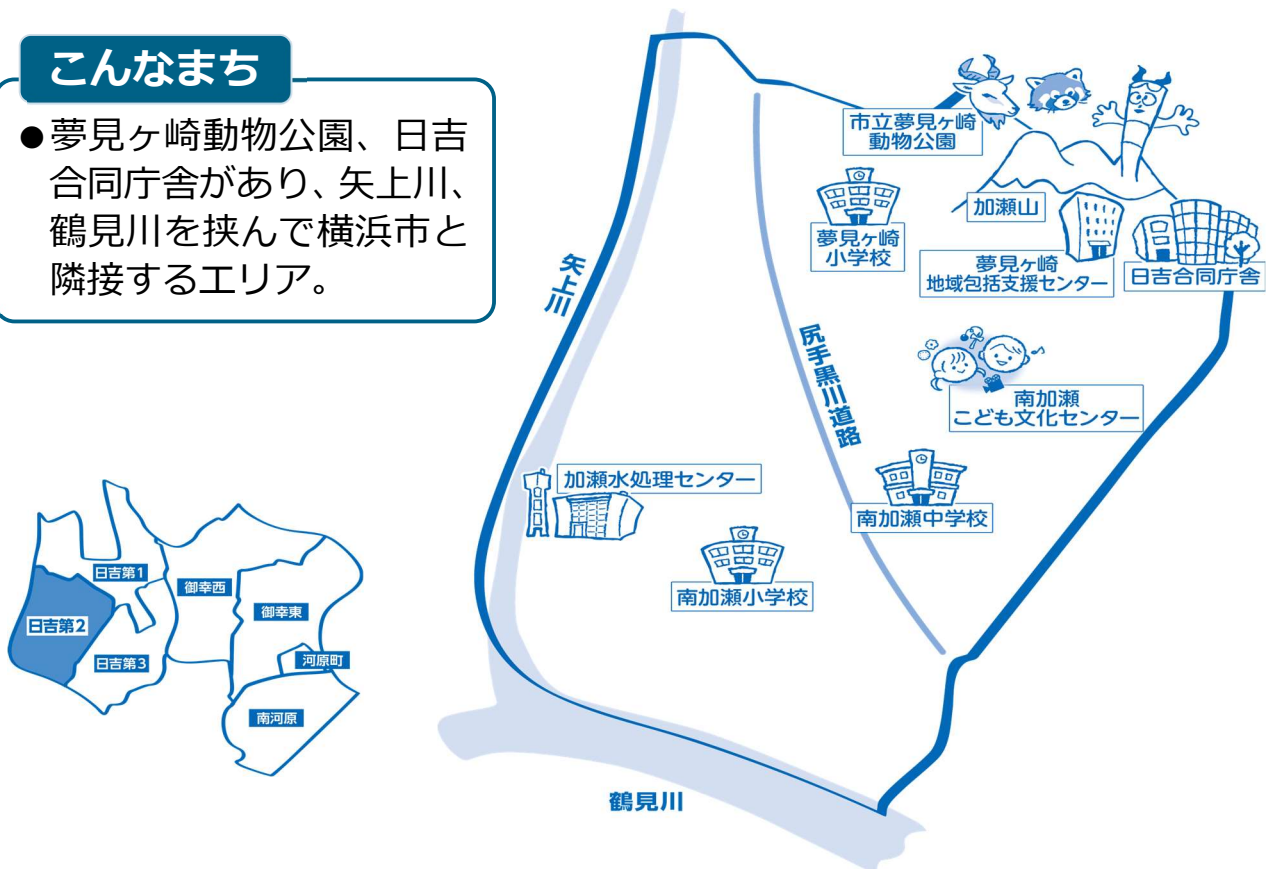
わがまちを知る



## 日吉第2地区

### こんなまち

- 夢見ヶ崎動物公園、日吉合同庁舎があり、矢上川、鶴見川を挟んで横浜市と隣接するエリア。

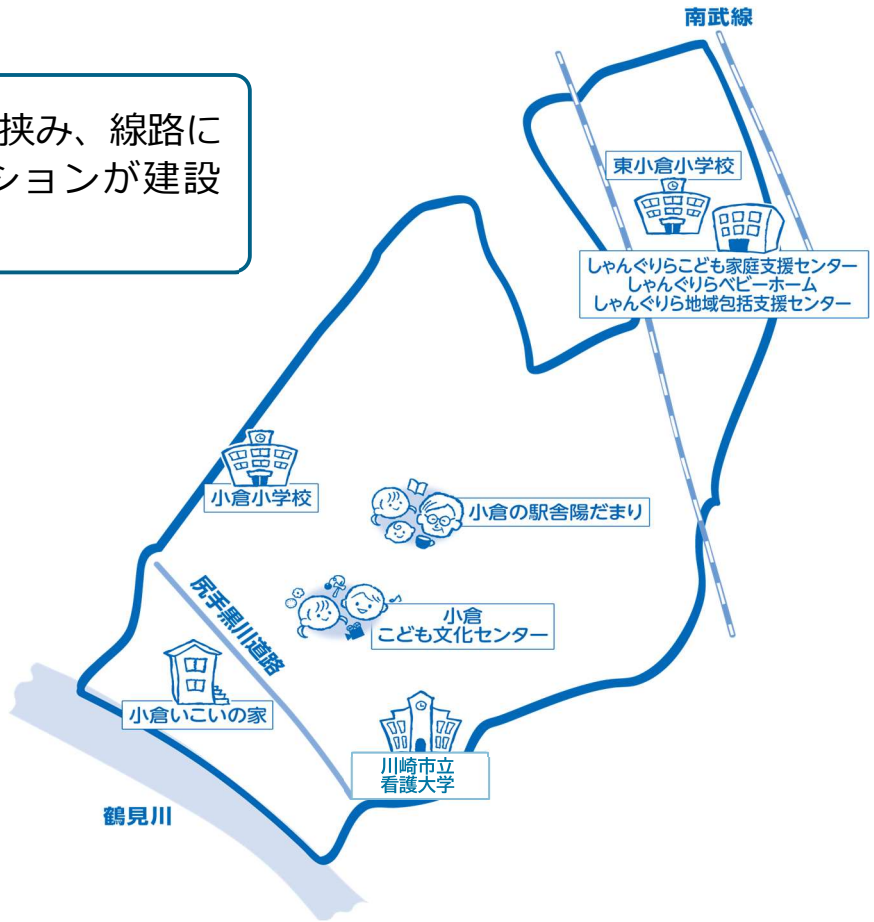




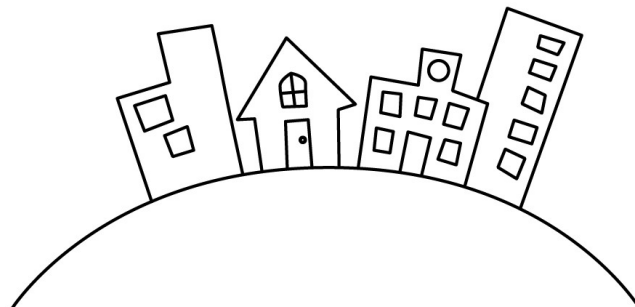
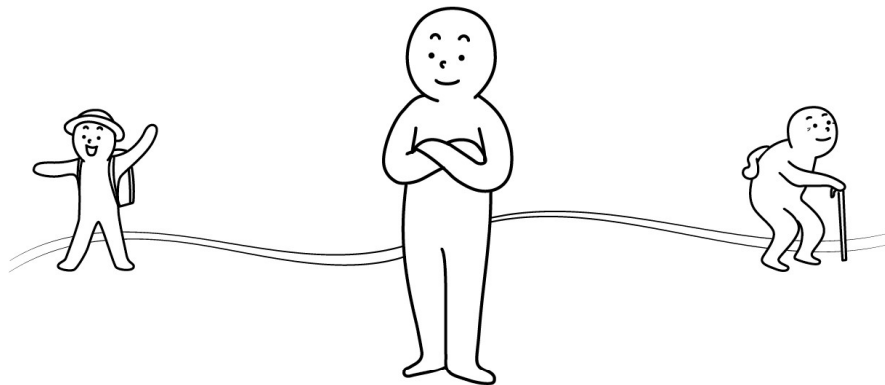
# 日吉第3地区

## こんなまち

- 新鶴見操車場跡地を挟み、線路に沿って、大型マンションが建設されているエリア。



わがまちを知る

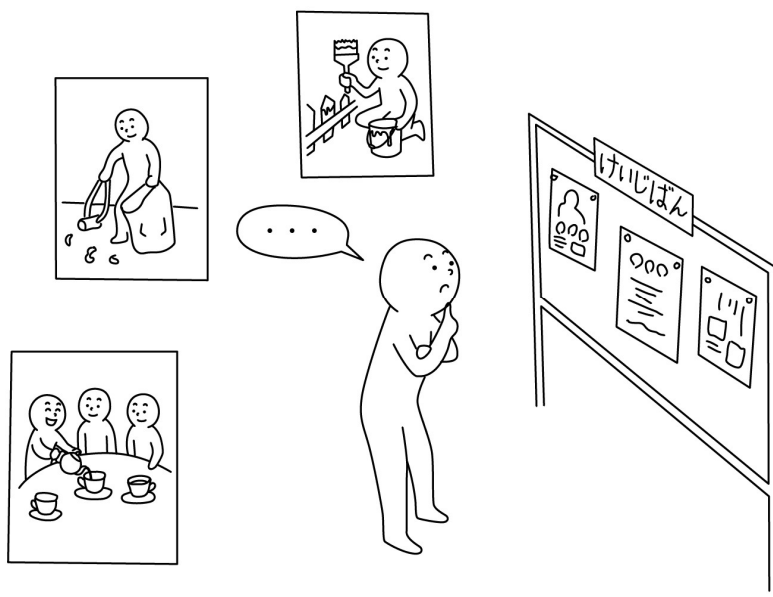




みんなはどう思ってるんだろう…



# 地域の福祉を 調べる



地域の福祉を調べる

Chapter

2

- 1 第6回川崎市地域福祉実態調査結果
- 2 第6期幸区地域福祉計画を振り返る
- 3 第7期幸区地域福祉計画推進の視点

# 1 第6回川崎市地域福祉実態調査結果

## (1) 第6回川崎市地域福祉実態調査

地域福祉に関するニーズを把握し、本市における地域福祉の向上に資する第7期地域福祉計画策定に向けた基礎資料とすることを目的に、令和4（2022）年度に「地域福祉実態調査」を実施しました。調査の主な結果は次のとおりです。

### 【幸区での実施状況】

対象者 市内在住の18歳以上の男女（外国人を含む）各区1,000人  
抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出  
調査方法 郵送配布・郵送回収  
調査時期 令和4（2022）年11月～12月  
有効回収数 363人（36.3%）

ウェブ上での検索で  
サイトをご覧ください

第6回川崎市地域福祉実態調査

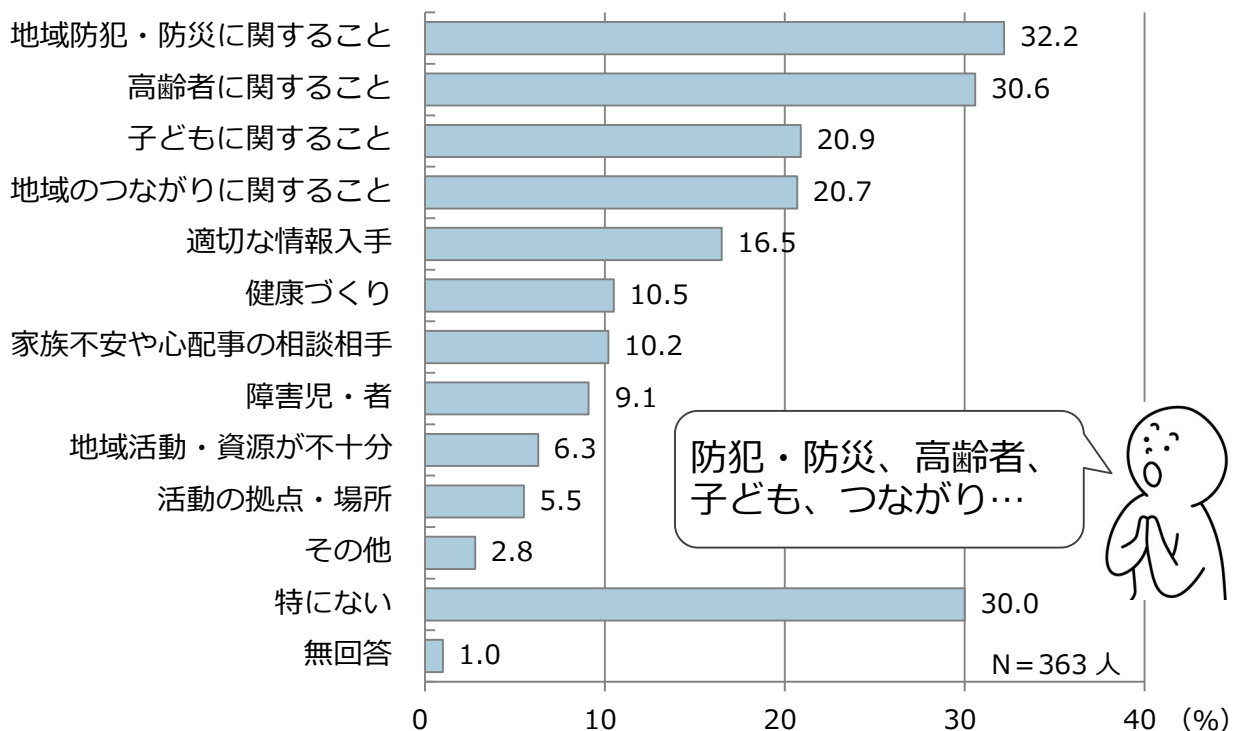


## (2) 主な調査結果

### 地域のこと

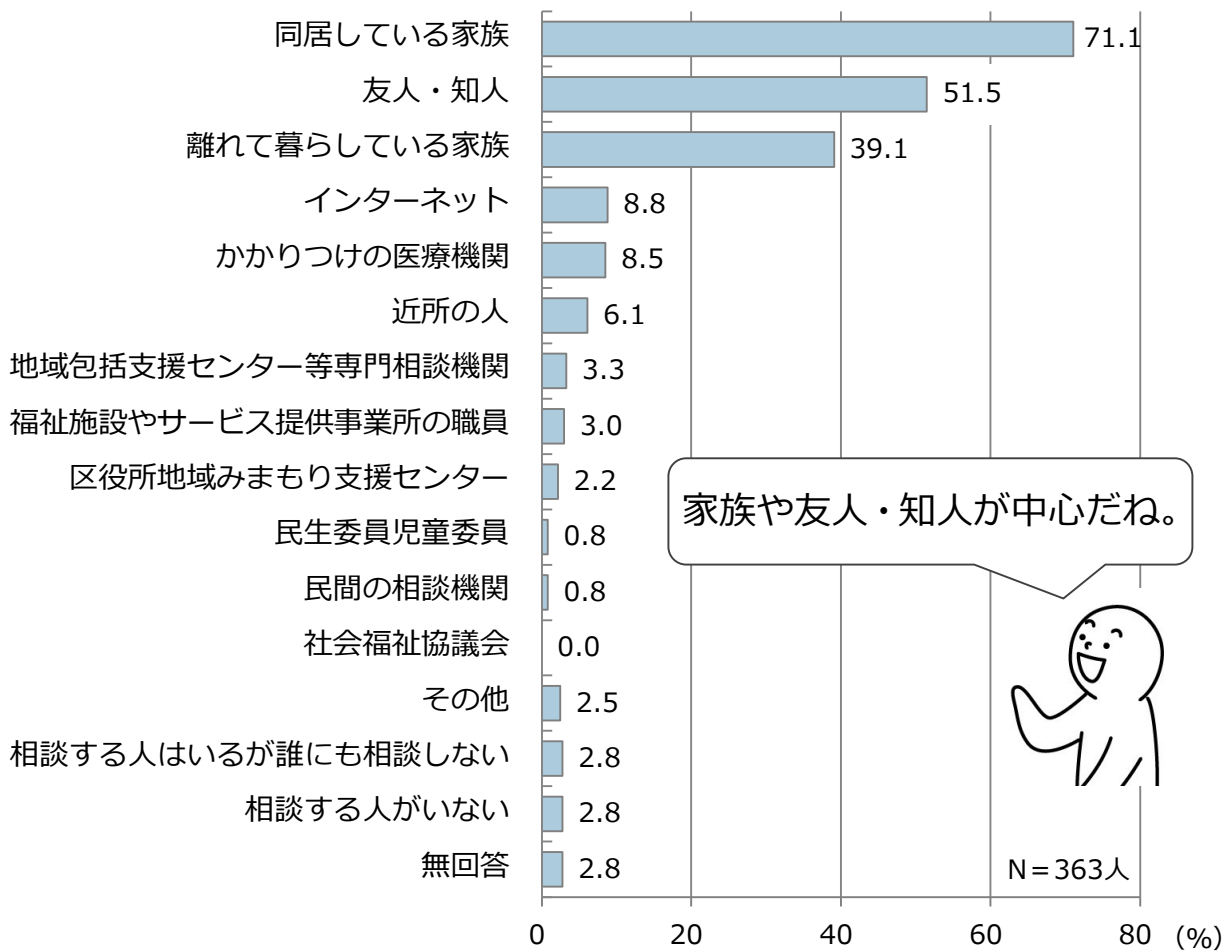
#### Q1 地域で問題になっていることってどんなこと？

地域において今何が問題だと感じていますか（複数回答）



## Q2 生活での心配ごとや悩みごとを相談する人は誰？

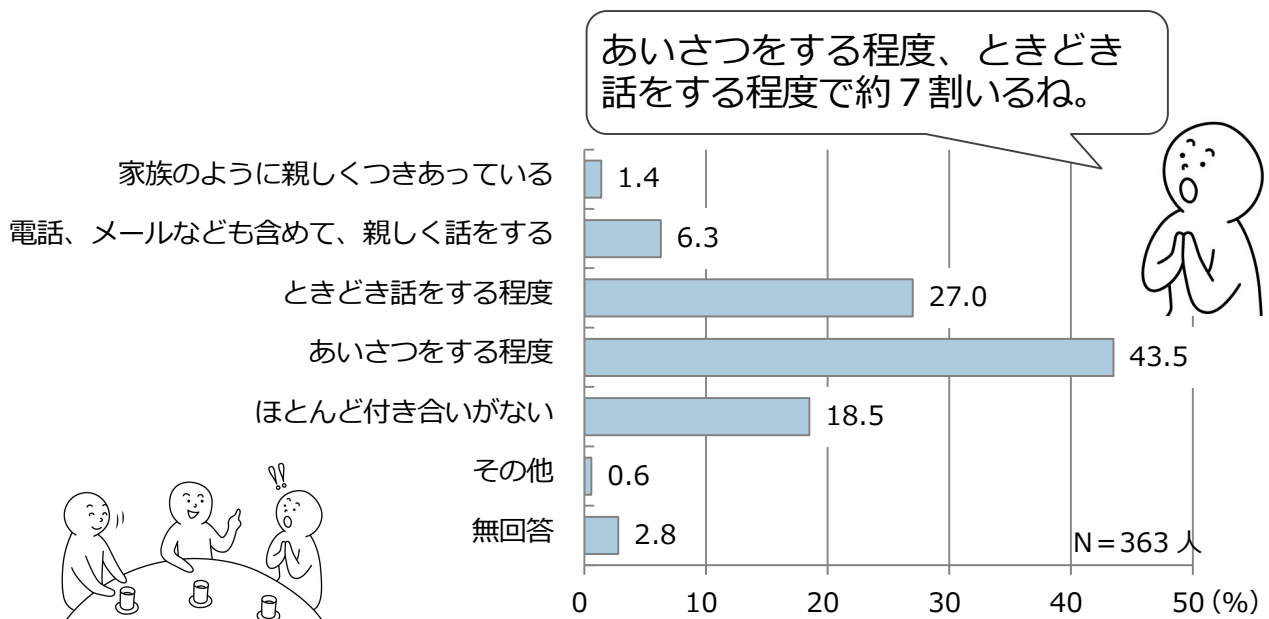
日常生活で心配ごとや悩みごとがある時誰に相談していますか（複数回答）



地域の福祉を調べる

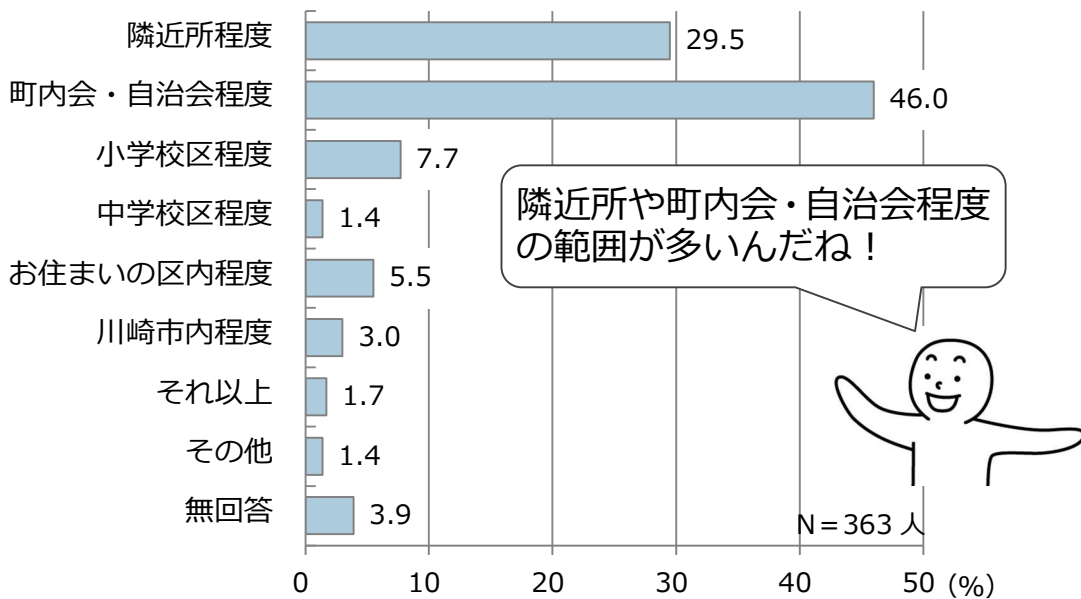
## Q3 ご近所の方とは、普段どの程度のお付き合い？

普段ご近所の方とどの程度のつきあいをしていますか



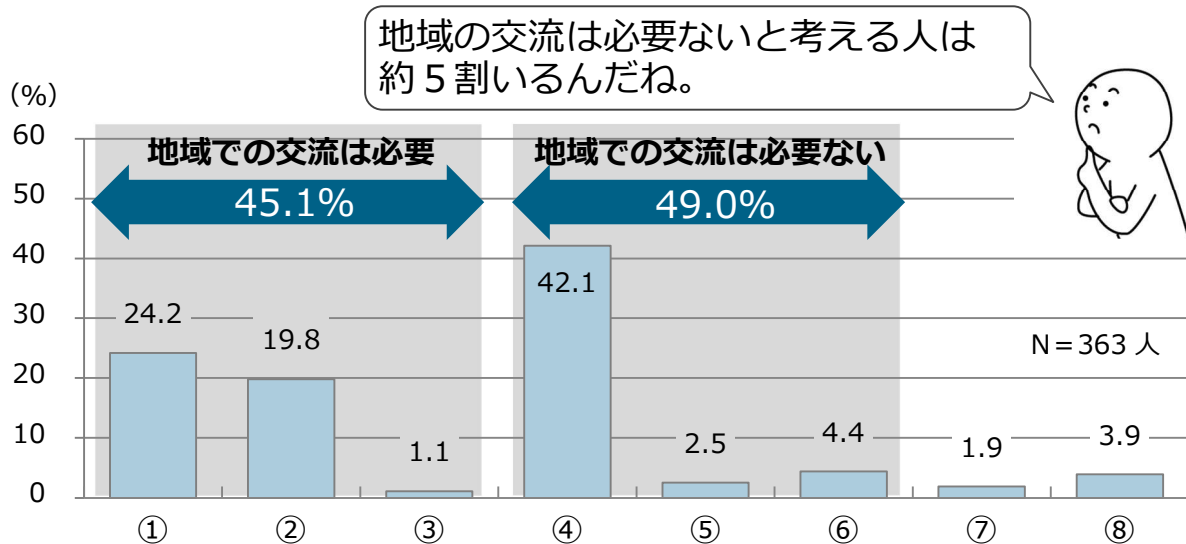
## Q 4 助け合いができる地域ってどれくらい？

助け合いができる「地域」の範囲をどの程度だと考えますか



## Q 5 近所や地域住民同士の交流についてどう思っている？

近所付き合いや地域住民同士の交流についてどの程度必要とお考えですか

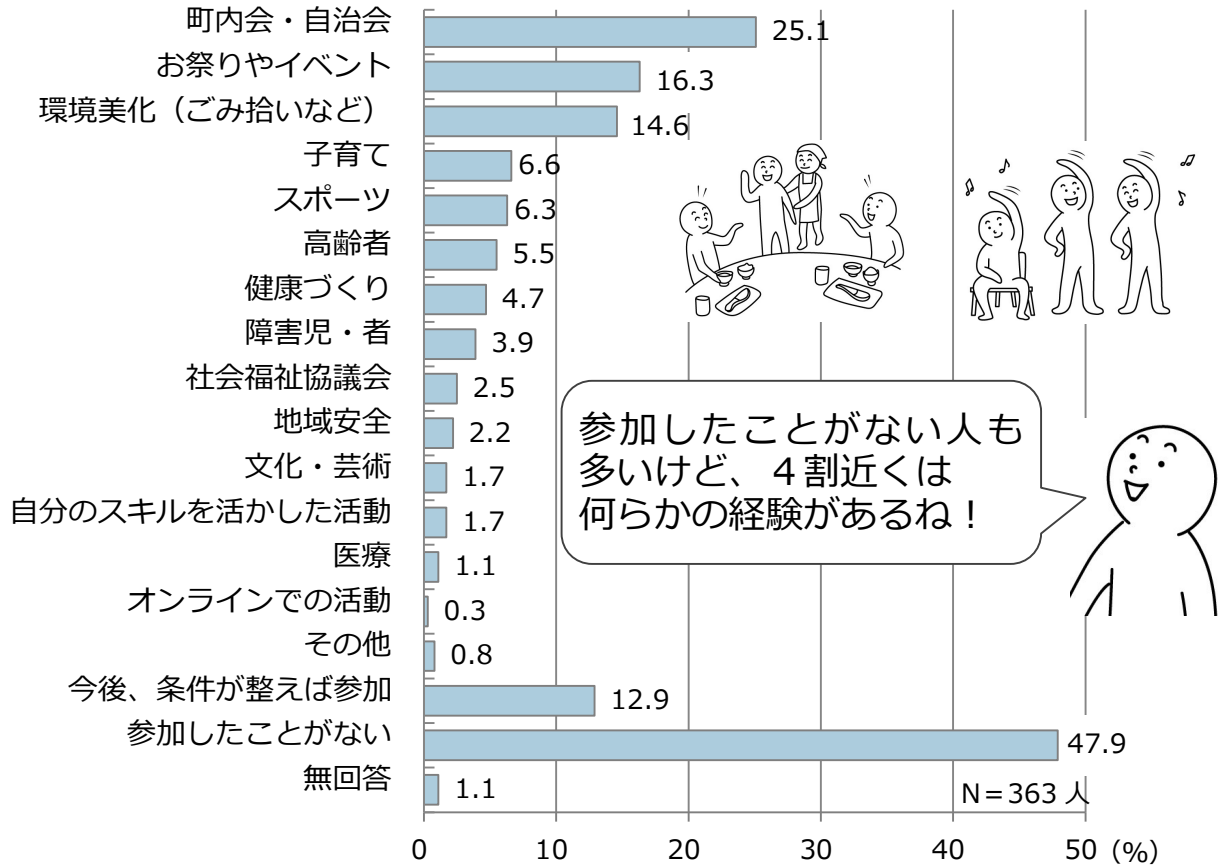


- ① 地域で助け合うことは大切であり、そのためにも普段からの交流は必要だ
- ② いざという時には助け合いたいので、多少面倒でも普段から交流しておいた方が良い
- ③ 地域での助け合いは必要と思わないが、地域で交流すること自体は大切
- ④ 困った時は当然助け合うべきだが、日頃の交流は面倒なのであまりしたくない
- ⑤ 地域との交流より、気のあった仲間やグループで交流し、その中で助け合えば良い
- ⑥ 困った時は行政などが支援すべきで、地域での助け合いや日頃からの交流は必要ない
- ⑦ その他
- ⑧ 無回答

# 地域で活動に参加すること

## Q6 地域活動やボランティア活動への参加経験は？

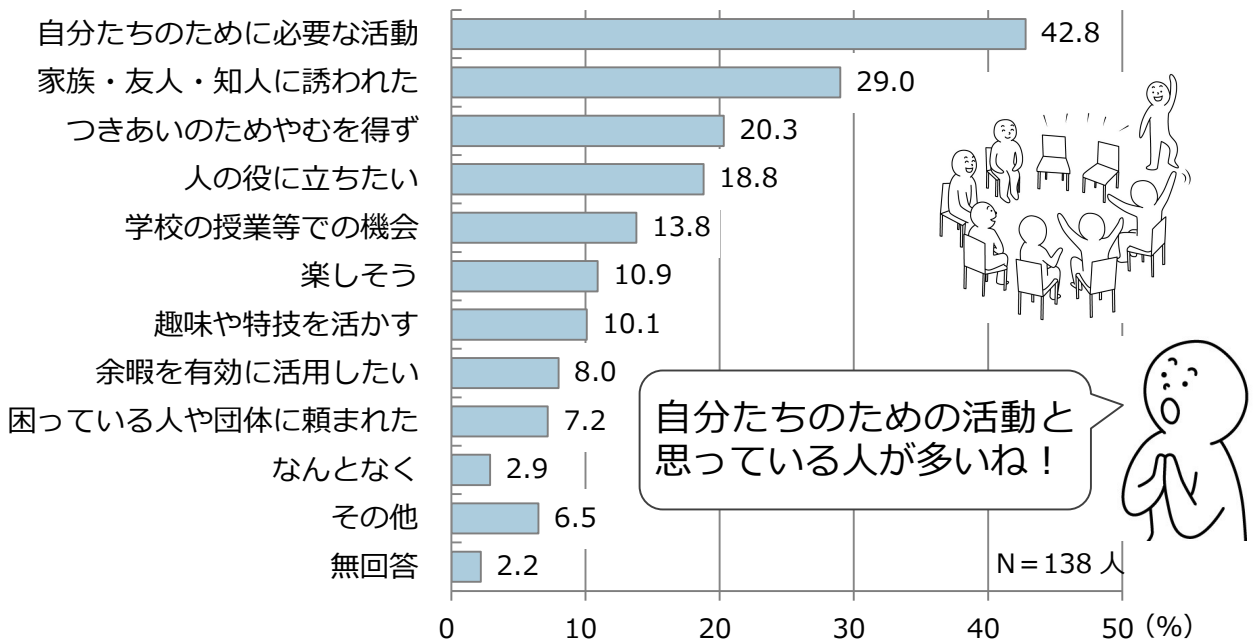
地域活動やボランティア活動に参加したことがありますか（複数回答）



地域の福祉を調べる

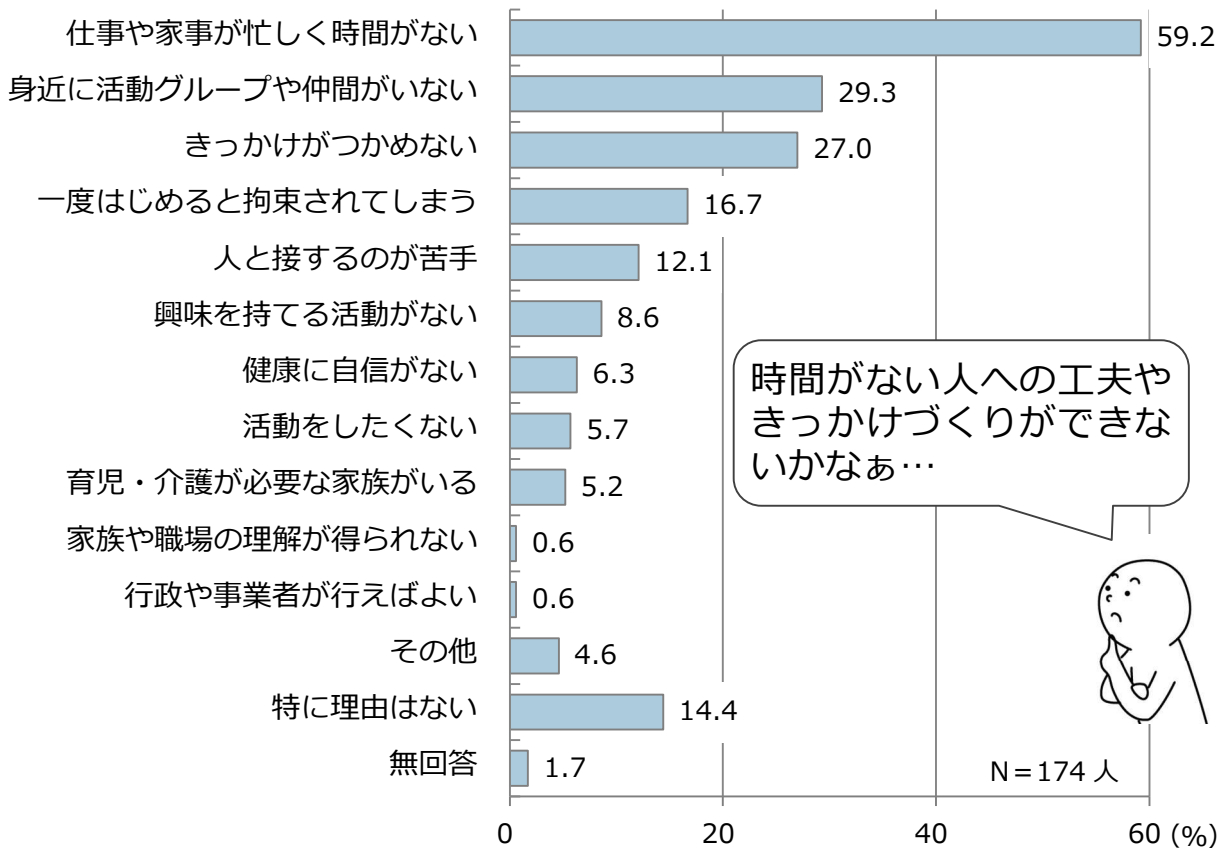
## Q7 地域活動やボランティア活動への参加する動機ってどんなこと？

地域活動やボランティア活動に参加した動機やきっかけはなんですか（複数回答）



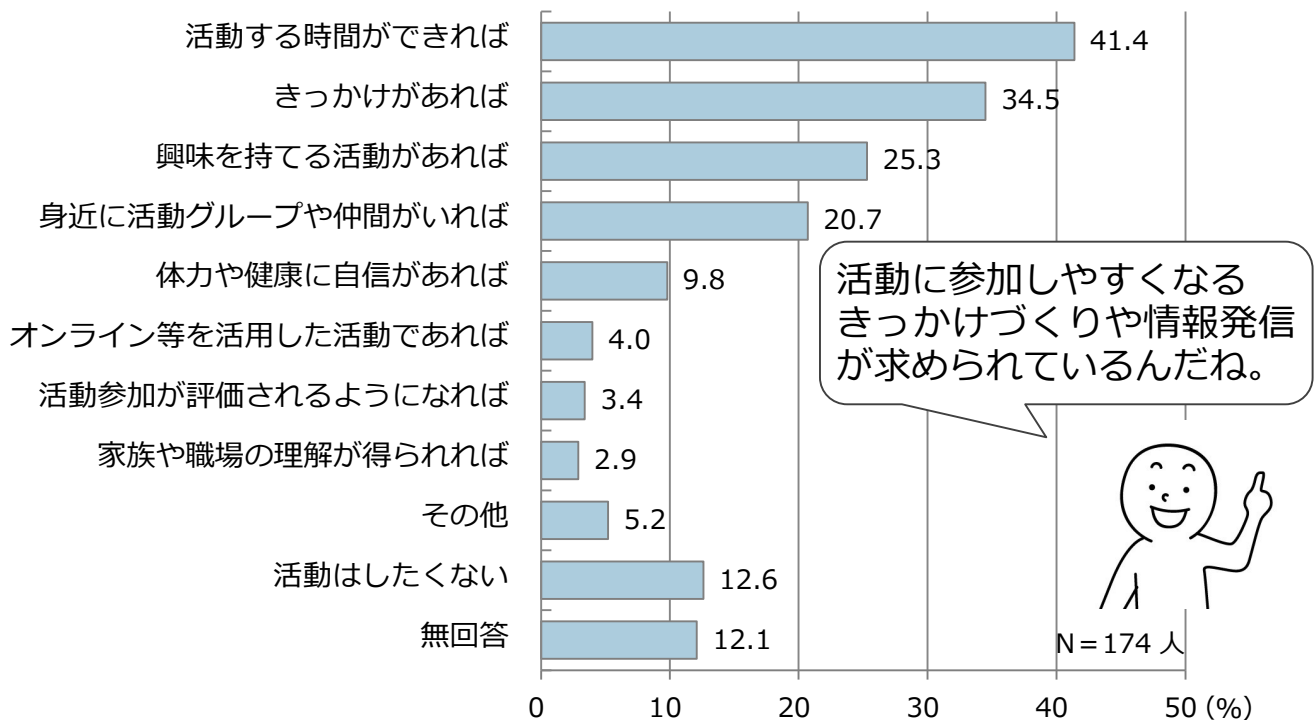
## Q8 なぜ参加しない・できないのだろうか？

地域活動やボランティア活動に参加したことがない理由はなんですか（複数回答）



## Q9 どのような状況になれば参加したいと思うのだろうか？

どのような状況になれば、地域活動やボランティア活動に参加したいと思いますか

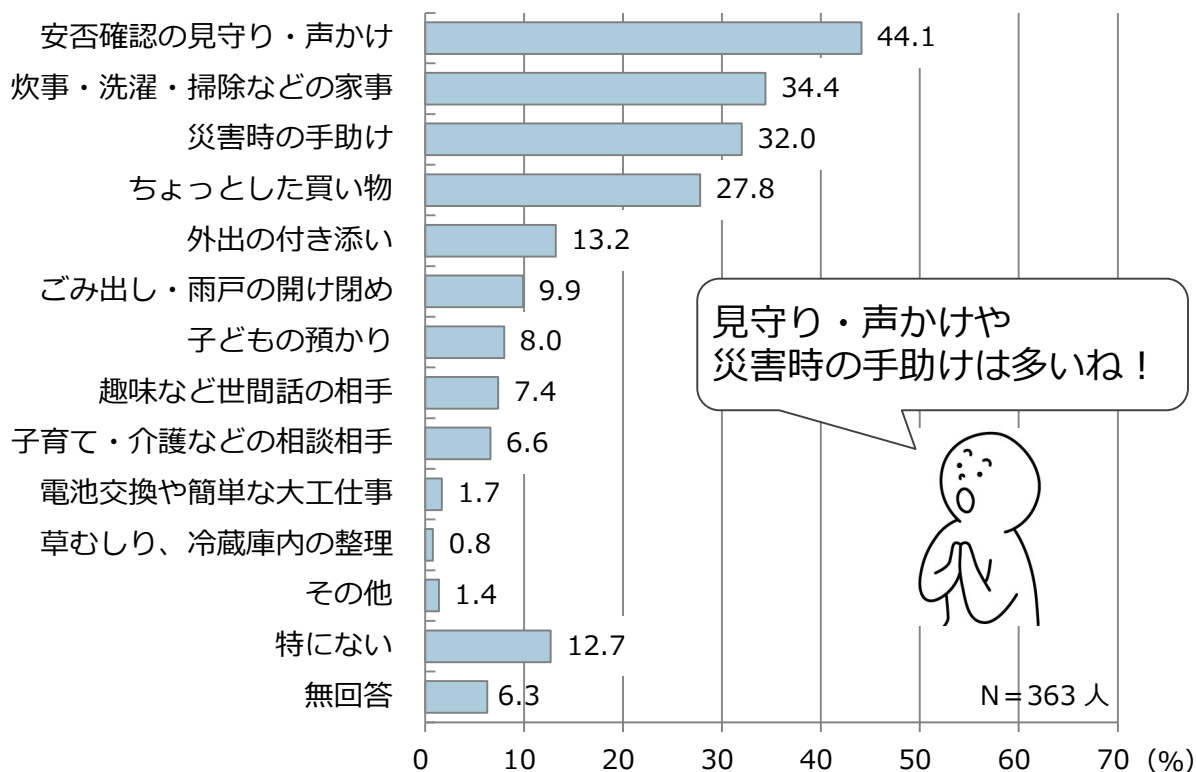




# いつまでも安心して暮らすために

## Q10 どんな手助けを地域の人に求めたい？

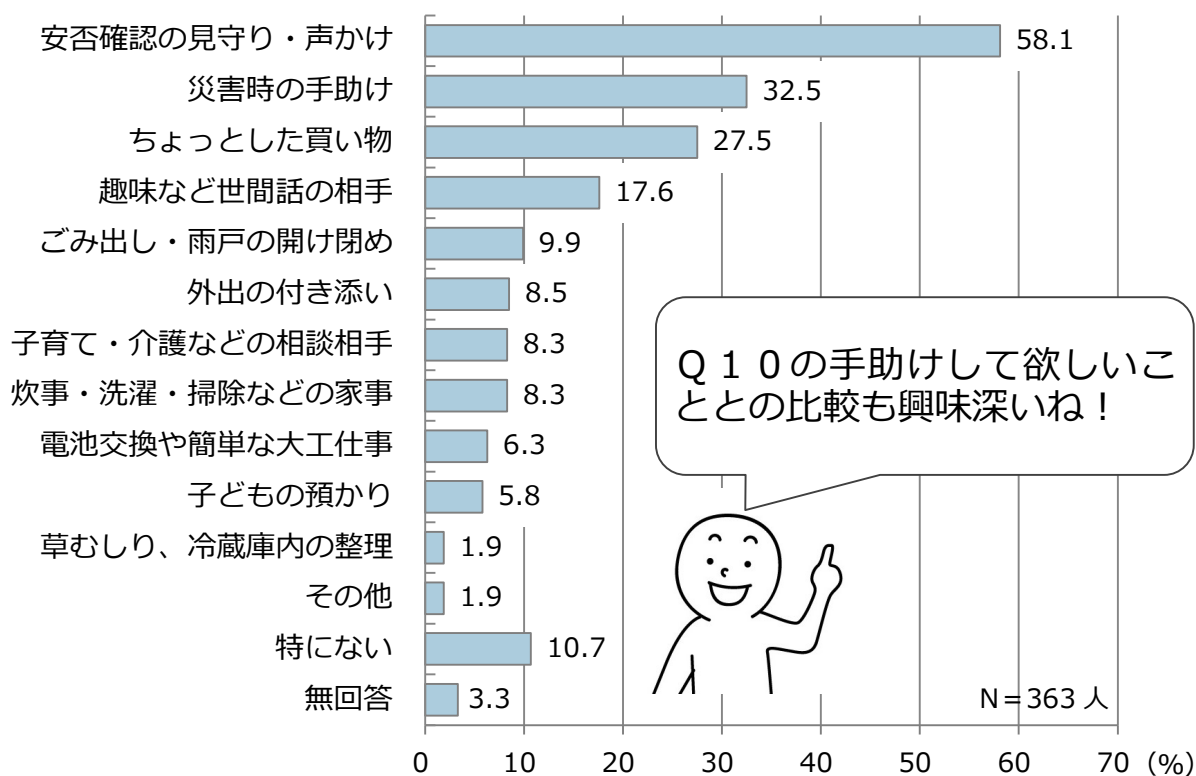
日常生活が不自由になった時どんな手助けをして欲しいですか（3つまで）



地域の福祉を調べる

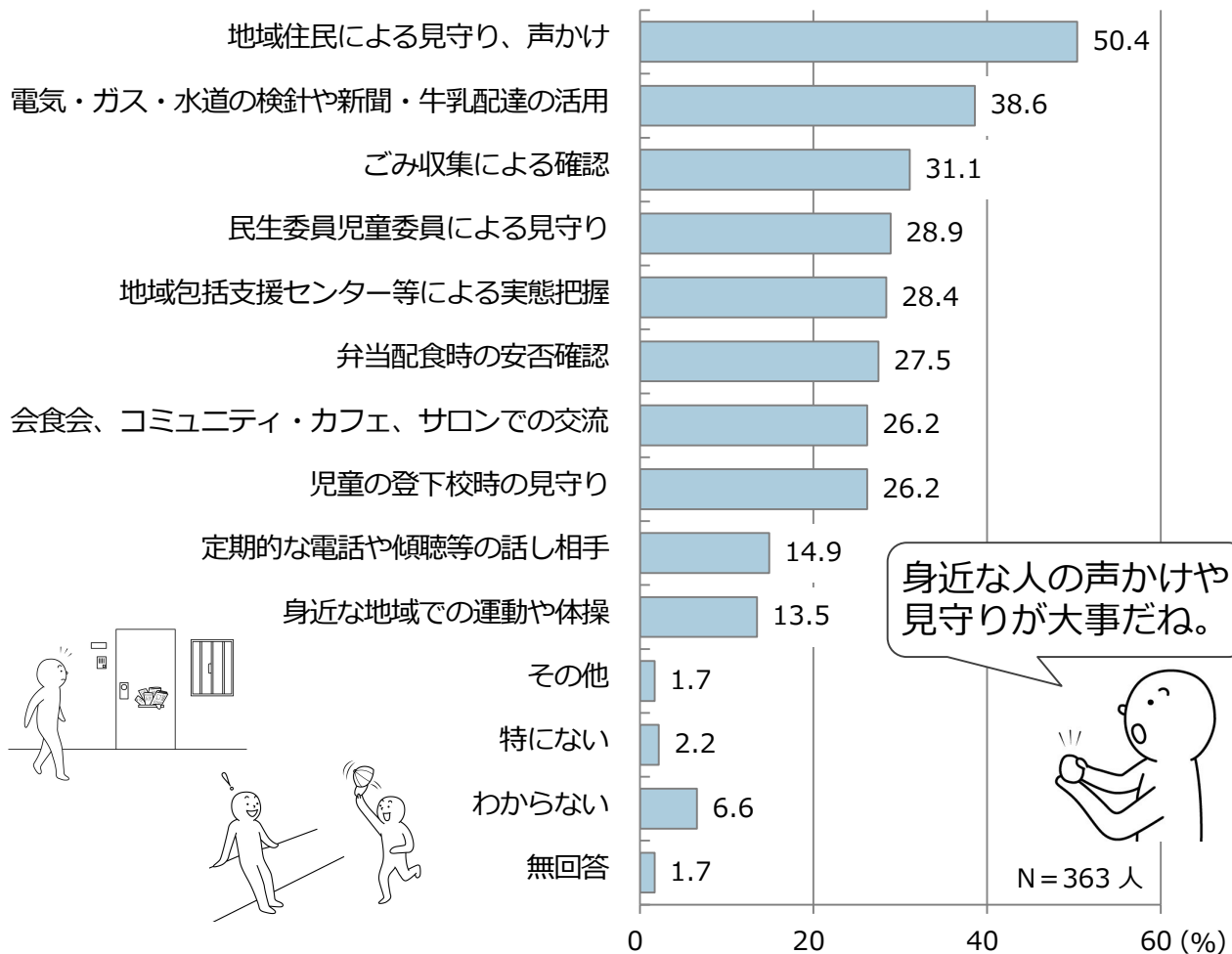
## Q11 自分ができることってどんなこと？

地域で安心して暮らすために、自分ができるとはなんですか（3つまで）



## Q 1 2 どうしたら社会的不安や孤独・孤立に対応できるだろう？

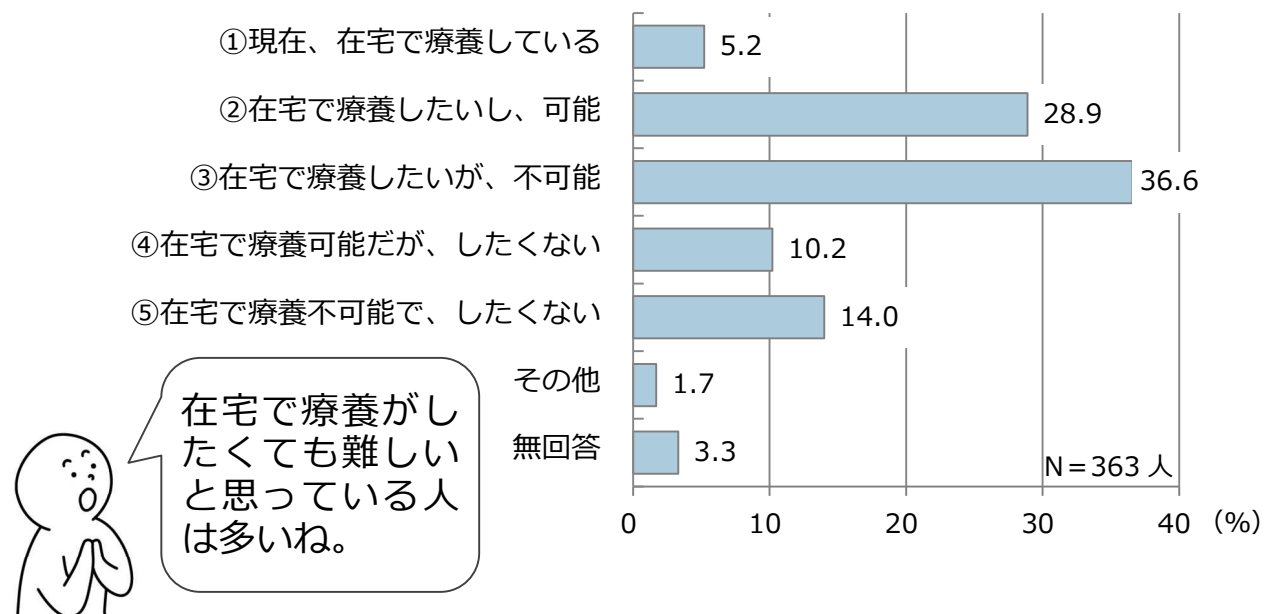
社会的不安や孤独・孤立に対して、どのような取組が有効だと思いますか（5つまで）



地域の福祉を調べる

## Q 1 3 療養生活を在宅で過ごすことについてどう思う？

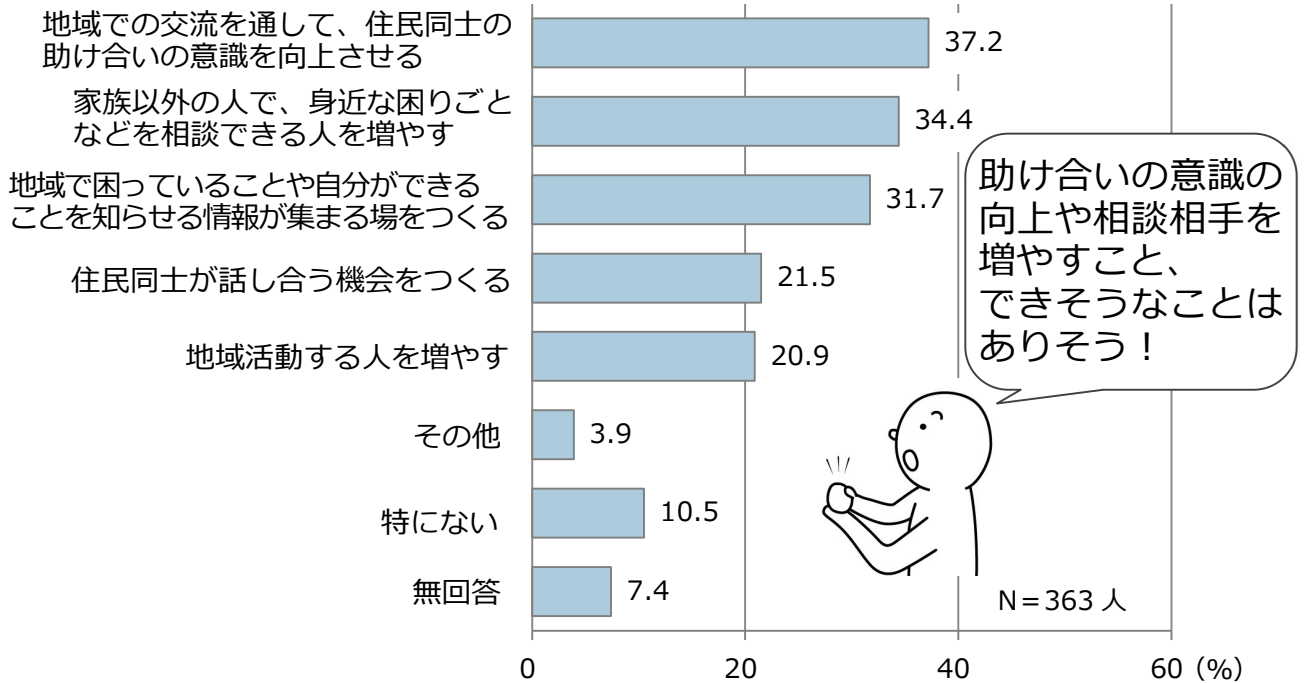
長期の医療や介護が必要となった場合、入院せず在宅で療養することは可能ですか



## ■ 地域福祉の推進に向けて

### Q14 市民が取り組むべきことってどんなこと？

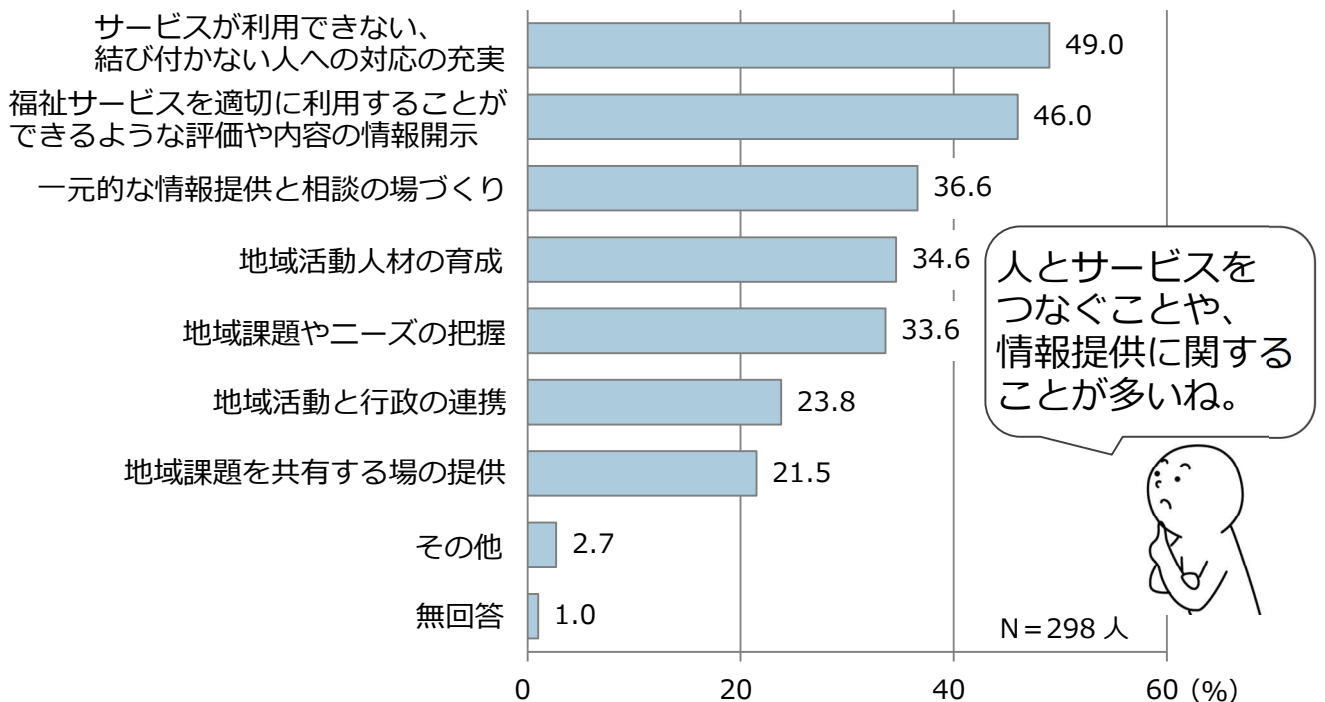
地域福祉を進めるために、市民が取り組むべき重要なことはなんですか（複数回答）



地域の福祉を調べる

### Q15 行政が取り組むべきことってどんなこと？

地域福祉を進めるために、行政が取り組むべき重要なことはなんですか（複数回答）



## 2 第6期幸区地域福祉計画を振り返る

第7期幸区地域福祉計画の策定に向けて、令和5（2023）年度第1回幸区地域福祉計画推進会議において、第6期計画の取組状況や達成状況について振り返りながら、委員同士の意見交換を行いました。

### 第6期幸区地域福祉計画

（令和3年度～令和5年度）

#### 計画の理念

夢がひろがり、想いがつながり、心が届くまちさいわい

#### 基本目標1 一人ひとりに【ひろがる】

- 基本方針1-1 わがまちや地域包括ケアのことを知る
- 基本方針1-2 生涯を通じた健康づくりを進める
- 基本方針1-3 地域活動の担い手を広げる

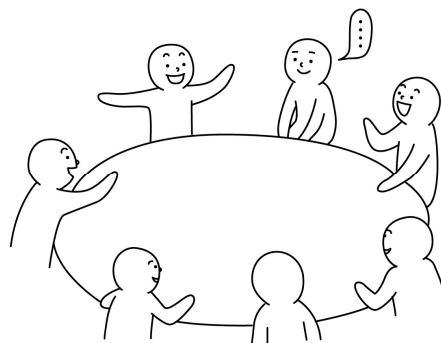
#### 基本目標2 地域で【つながる】

- 基本方針2-1 多様な地域活動からつながる
- 基本方針2-2 多様なつながりから、新たな地域活動を育む
- 基本方針2-3 多様な人がともに住むことへの理解を深め、互いに見守り・支え合う

#### 基本目標3 必要な時に【とどく】

- 基本方針3-1 支援が必要な方に、専門性の高い情報を的確に届ける
- 基本方針3-2 包括的な相談支援機能を充実する
- 基本方針3-3 防犯・防災のまちづくりを進める

#### 基本目標4 【すすめる】



## 取組結果

### 基本目標 1 一人ひとりに【ひろがる】(自助)

「地域包括ケアへの理解と参加の広がりによる区民主役の地域づくり」を目指して、多種多様な情報を広報誌、SNS等を活用しながら周知し、ライフステージに沿った健康づくりに取り組み、地域をより暮らしやすくしていくための地域活動に参加をするきっかけづくりを行いました。

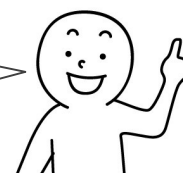
YouTubeやInstagramで若い人に向けて情報を発信しているんだね。



### 基本目標 2 地域で【つながる】(互助)

「人と地域のつながりが活発で、見守り、支え合うことのできる地域づくり」を目指して、アフターコロナを見据え、対面による人と人とのつながり、人と地域活動がつながるために、地域に根ざした様々な活動を行い、地域とつながるきっかけづくりを行いました。また、地域に住む多様な人への理解を深めるため、お互いを知る機会を提供することで、お互いに見守り、支え合う関係作りを行いました。

幸区オリジナル盆踊り「幸わいわい音頭」を作ったりして、つながるきっかけにしたんだね。



### 基本目標 3 必要な時に【とどく】(共助・公助)

「総合的な体制で必要な相談・支援が届く仕組みづくり」を目指して、多様なニーズ、日々の暮らしの困りごとなどを相談する機会の充実を図り、日頃からのパトロールや災害に備えて、地域住民、企業、関係団体と連携した訓練の実施など、安心安全に暮らすことができるよう取組を行いました。

いざという時に備えて避難所で訓練を実施しているんだね。

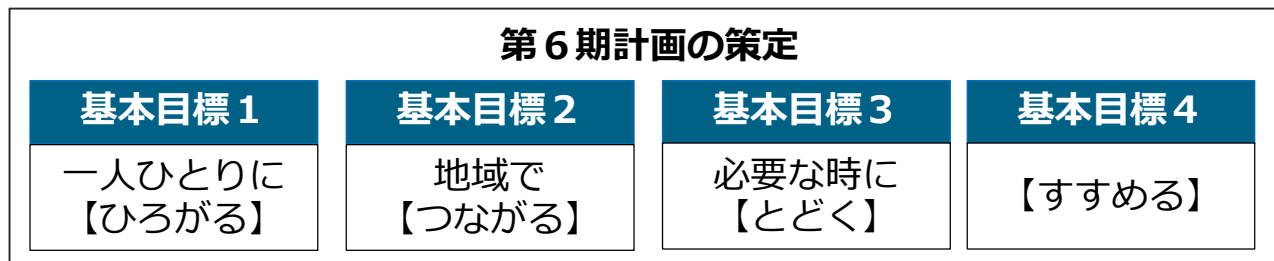


### 基本目標 4 【すすめる】

「地域福祉を進める基盤体制の確立とネットワークづくり」を目指して、各種会議体で事業の進捗状況、多職種が一体となった課題の共有を行い、地域福祉計画を推進する体制を確立しました。

### 3 第7期幸区地域福祉計画推進の視点

統計データ、調査結果、第6期計画の振り返りに加え、地域包括ケアシステム構築に向けて検討すべき要素を加えることによって、第7期計画を推進する視点をまとめました。



統計データ・調査結果・第6期計画の振り返り

#### 第7期計画策定に向けた課題

- ① 地域包括ケアシステム構築に向けた意識を広げ、健康寿命延伸やボランティアなどによる地域活動の担い手づくりの取組を進めることで、より多くの人が様々な形で地域活動に参加する機会を広げる必要がある。
- ② 新型コロナウイルスの影響により休止した活動の再開など各種地域活動を活発にすることで、多様な人や活動がつながり、お互いに地域で見守り支え合うことができる地域づくりを進めていく必要がある。
- ③ 子どもから高齢者まで、また、本人や家族を含めて、福祉サービスや災害時における個別支援の充実を図るために、必要な相談や支援が届く体制づくりを充実させていく必要がある。

#### 第7期計画への反映（基本目標）

ケアの意識を広げ  
参加が広がる地域

地域のつながりから  
見守り、支え合う

総合的な体制で  
相談・支援が届く

地域福祉の充実を  
推進する体制

関連する取組をさらに充実させるため、  
第7期計画の基本目標として反映させます。